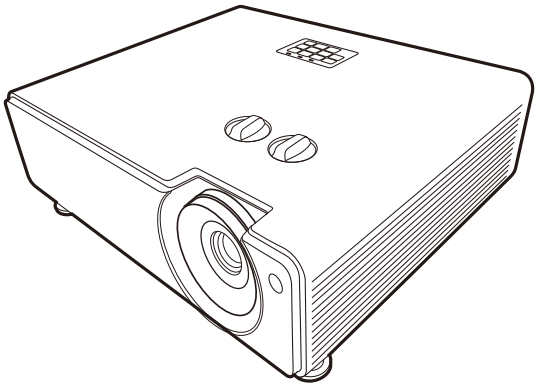
Canon

POWER PROJECTOR
LX-MH502Z
使用説明書



ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。
本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

目次

目次 2
安全にお使いいただくために 3
安全上の注意を表す記号 3
使用上のご注意 4
電源について 4
設置・ご使用について 6
レーザー光源について 8
リモコンの電池について 9
取り扱いについて 10
正しくお使いいただくために .. 11
持ち運びおよび設置について 11
設置の前に 12
持ち運び時／輸送時のご注意 12
設置のときのご注意 12

はじめに 19
同梱品（付属品の確認）..... 20
各部のなまえ 22
コントロール部および機能 23
プロジェクターを設置する 25
設置場所を決める 25
プロジェクターの配置 26
映像を調整する 28
接続する 30

メニューによる機能設定....33
操作 34
プロジェクターを起動する 34
メニューの使いかた 35
入力信号を切り替える 35
プロジェクターの電源を切る 36
メニューの操作 37
メニューのシステム 37
各メニューの説明 40
Crestron Connectedで連携操作する..... 51
PJLink アプリケーションを使ってプロジェクターを操作する 52
メンテナンス 55
プロジェクターのお手入れ 55
光源について 56

付録.....57
LED インジケーターの表示について 58
故障かなと思ったら 59
仕様 61
プロジェクターの仕様 61
寸法 63
対応信号 64
プロジェクター制御 68

安全にお使いいただくために

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

⚠ 警 告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
⚠ 注 意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 感電注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 高温注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、やけどをする可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	この記号は、使用規定を正しく守らない場合に目がレーザー照射により損傷を受ける危険性があることを示しています。
 禁 止	この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	この記号は、行わなければならない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。
 注 意	この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示します。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

電源について

⚠警告

設置する際は、電源プラグをすぐに抜けるようにするか、または配線用遮断器を手の届くところに設置してください。
以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。





- 煙が出ている。
- 変なにおいや音がする。
- 水などの液体が本機に入った。
- 金属類や異物が本機に入った。
- 本機を倒したり、落としたりしてキャビネットを破損した。

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因になります。





- 電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードを敷物などで覆わないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、また、巻いたり、束ねたりしないでください。
- 電源コードを熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は販売店にご相談ください。
- 表示されている電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。
- 電源プラグやコネクターの接点部に金属類を差し込まないでください。
- 付属している電源コードは、本製品専用です。他の製品では使用できません。





- 電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。
- アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

⚠警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因になります。





- ぬれた手で電源プラグやコネクターを抜き差ししないでください。

- 電源プラグやコネクターは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 電源プラグやコネクターを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクターを持って抜いてください。電源コードが破損します。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、延長コードの定格容量を超えない範囲でお使いください。
- たこ足配線などで定格容量を超えると、発熱による火災の原因になりますので行わないでください。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ゴミ・汚れなどを取り除いてください。
- 雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。
- 本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。
- 本機のお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。





設置・ご使用について

⚠警告

設置およびご使用上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。


水ぬれ禁止


感電注意

- 湿気やホコリの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください。油によりキャビネットの樹脂部が劣化し、天吊り設置の場合に落下するおそれがあります。
- 水や雨のかかるおそれのある室外や風呂、シャワー室などで使用しないでください。
- 本機の上に液体の入った容器を置かないでください。

- 天吊りのように高所に設置する場合は必ず落下防止ワイヤーなどの落下防止措置をプロジェクター本体に施してください。
- キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があります。内部の点検・整備・修理は販売店にご相談ください。
- 本機（消耗品を含む）やリモコンの分解や改造をしないでください。
- 使用中は排気口をのぞかないでください。
- 吸気口や排気口などの穴から物などを差し込まないでください。
- 排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、スプレー缶が破裂する原因になります。
- 本機のレンズなどに付着したゴミ、ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを絶対使用しないでください。本機内部の一部が高温になっているため、引火による火災の原因になります。
- 本機のメンテナンスの際に接着剤、潤滑剤、油、アルカリ性の洗剤などを使用しないでください。付着するとキャビネットが割れ、本機が落下し事故やけがの原因になります。


禁 止

- 使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。


RG2

- 本製品の投写光は IEC62471-5：2015 に基づくリスクグループ 2（RG2）に分類されます。
- 投写光か通る範囲に光学機器（ルーペ、反射鏡、メガネなど）をかざしたり、設置しないでください。投写光が屈折または反射しそれが目に入ると、目を傷めるなどの原因になります。

⚠警告

設置およびご使用上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



- 子供が本機に近づいたり触れたりする可能性がある場合は、必ず大人の管理・監督のもとで使用してください。



- 本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。
- カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上に設置しないでください。
- 天吊り設置および設置工事は必ず設置業者または販売店に依頼してください。工事の不備により、事故の原因になります。

レーザー光源について

⚠警告



- 本製品は IEC/EN60825-1:2014、JIS C6802:2014 に基づくクラス 1 レーザー製品であることを確認しています。（IEC/EN60825-1:2007 ではクラス 3R が適用されます）
- レーザーモジュールの仕様
  波長：449nm ～ 461nm
  最大出力：<95W
  パルス持続時間：1.12 ms

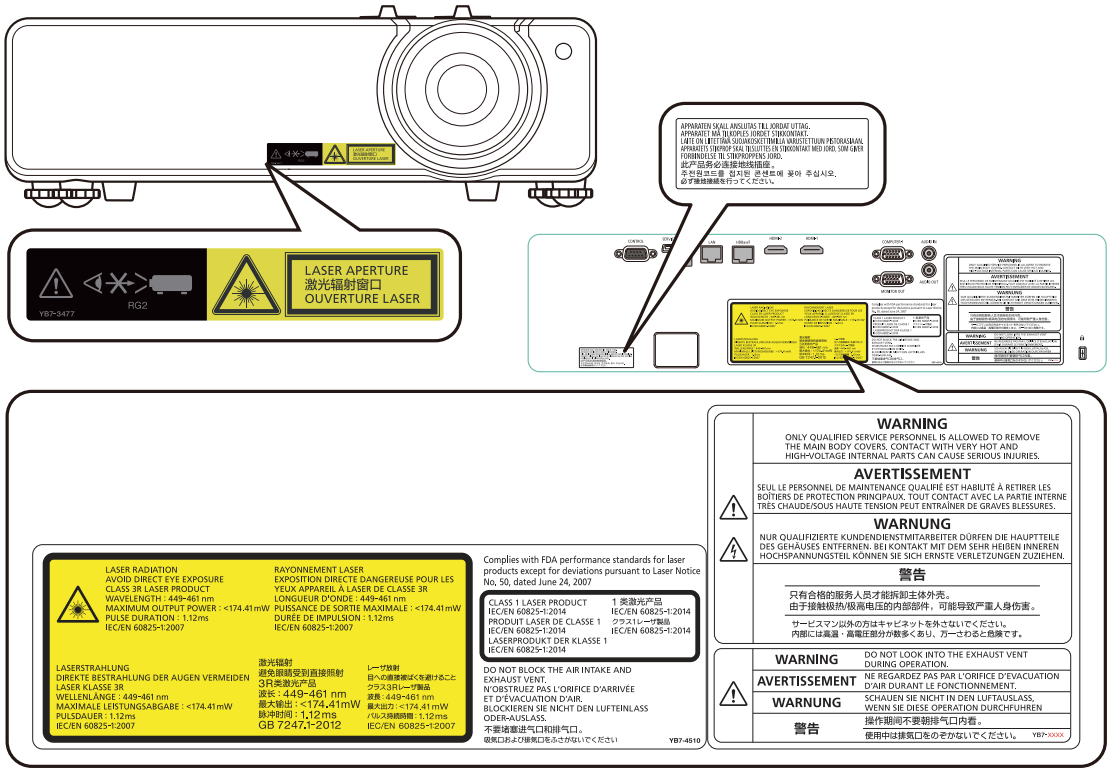


- 本機はレーザーモジュールを内蔵しています。分解・改造は危険ですので行わないでください。
- 使用説明書に記載した手順で操作や調整を行ってください。間違った手順で操作や調整を行うと危険なレーザー光にさらされることになります。



- 故障したまま使用しないでください。本書に従って正しく使用しても、画面に異常があるなど故障状態のまま使用すると火災・感電・レーザー光により視力障害の原因になります。
- 本機を廃棄する際は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。廃棄の際にお客様自身で本機を分解しないでください。

説明ラベルと警告ラベルは、本機の以下の箇所に添付されています。



リモコンの電池について

⚠警告

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因になります。

禁止

- 電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 付属の電池は充電しないでください。

注意

- 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- ＋と－の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

取り扱いについて

⚠注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。



- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグやコンセントにホコリがたまり、火災の原因になることがあります。



- AUDIO OUT 端子には、ヘッドホンやイヤホンを接続しないでください。聴力障害の原因になることがあります。
- 初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。



- 投写中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になりますので、手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、排気口周辺や上部に金属類を置かないでください。高温になり、やけどやけがの原因になることがあります。



- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- レンズの前に物を置いて投写しないでください。火災の原因になることがあります。



正しくお使いいただくために

持ち運びおよび設置について

注意

本機を持ち運ぶ際は、以下の点にご注意ください。

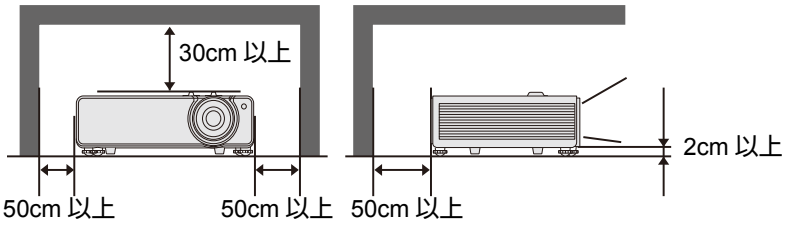
注 意

- 本機は精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因になります。
- 移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがありますので、調整脚をおさめてください。
- レンズを素手で触らないでください。レンズに汚れや指紋が付くと、画質を損なう原因になります。
- 使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかったり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因になることがあります。

設置または使用に関して、以下の点にご注意ください。

注 意

- 結露に注意してください。
  低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、映像に影響がでることがあります。その場合、しばらくまって結露がとれたことを確認後、使用してください。
- 高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。なお使用環境と保管温度の範囲は次の通りです。
  • 使用環境：温度 0 ℃～ 40 ℃　湿度 90%まで
  • 保管温度：-10 ℃～ 65 ℃
- 海抜 1,201m ～ 3,000m の高地でご使用されるお客様へ
  本機のメニューから［高地モード］を［オン］に変更してください。
- 本機の吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり光学部品等の寿命が短くなったり故障の原因になることがあります。
- 本機の各側面の吸気口､排気口を壁などから 50cm 以上離して設置してください。ただし、本機の底面から 2cm 以上隙間を空けてください。底面に吸気口があります。内部に熱がこもり故障の原因になることがあります。



- 熱で変形や変色の恐れのあるものを本機の上に置かないでください。
- 高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。

設置の前に

持ち運び時／輸送時のご注意

本機を以下の状態にしてから持ち運んでください。

注 意

- 本機の接続ケーブルを外してください。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因になります。
- 移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがありますので、調整脚をおさめてください。
- 強い衝撃や振動を与えないでください。

設置のときのご注意

3 ～ 11 ページの「安全にお使いいただくために」および「正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。また、設置するときは次のことに注意してください。

注 意

- 本機をたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因になることがあります。
- 本機を縦置きで立てかけたり、不安定な状態で置かないでください。転倒により故障の原因になることがあります。

■以下のような場所には設置しないでください

注 意

- 湿気やホコリ、油煙やタバコなどの煙が多い場所
  レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になることがあります。また、油によりキャビネットの樹脂部が劣化し、天吊り設置の場合に落下するおそれがあります。
- 高圧電線や電力源の近く
  正しく動作しないことがあります。
- カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上
  火災または本機の故障の原因になります。
- 高温、低温、高湿度になる場所
- 振動 / 衝撃が加わる場所
- 熱感知器や煙感知器のそば
- 海の近く、エアコン吹き出し口の近く
- 温泉から出る硫黄ガスなどの腐食性ガスが発生する場所
  故障の原因になることがあります。なお、使用温度・湿度、保管温度の範囲は以下の通りです。

使用温度範囲	使用湿度範囲	保管温度範囲
0 ℃～ 40 ℃	90%まで	－ 10 ℃～ 65 ℃

■レンズを素手で触らないでください

注意

レンズを素手で触らないでください。レンズに汚れや指紋が付くと、画質を損なう原因になることがあります。

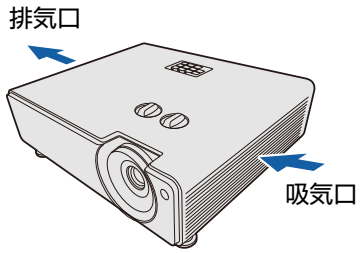
■画面のピントを合わせる（**28** ページ）ときは、**30** 分以上点灯させてから行うことを推奨します

電源を入れた直後は光源の熱の影響でピント位置が安定しない場合があります。

■壁などから十分な距離をあけて設置してください

注意

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、本機の寿命を縮めたり、故障の原因になります。
また、密閉された風通しの悪い狭いところに設置しないで、風通しのよい場所に設置してください。上方は 30cm、側面、後部いずれも壁などから 50cm 以上離してください。また、本機の底面は 2cm 以上隙間を空けてください。



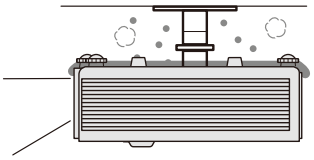
■結露にご注意ください

部屋の温度を急に上げたときなど、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

■海抜 **1,201m** ～ **3,000m** の高地で使用するときは設定を変更してください

海抜 1,201m ～ 3,000m の高地でご使用される場合は、本機のメニューから [高地モード] を［入］に変更する必要があります。
詳しくは、[設置] の [高地モード]（45 ページ）を参照してください。

■天井から吊り下げてご使用になる場合



⚠注意

天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口周辺の掃除を定期的に行ってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因になることがあります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで 取り除いてください。

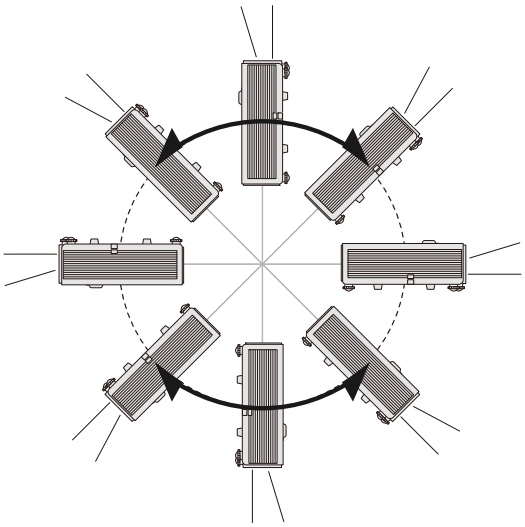
- 湿気やホコリの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください。油によりキャビネットの樹脂部が劣化し、天吊り設置の場合に落下するおそれがあります。

■上下投写、斜め投写の設置

- 本機は、上向き投写、下向き投写などあらゆる方向で投写できますが、吸気口、排気口をふさがないでください。特に底面の吸気口から 2cm 以上、側面の吸気 / 排気口から 50cm 以上の隙間を必ず空けてください。

注意

- 本機は設置のためのオプションは用意されていません。
- 上向き投写または、下向き投写の設置はお客様自身で行わず、必ず設置業者または販売店に依頼してください。
- 下図のように投写の角度が ±45° を超える場合は、[光源設定] メニューの [光源モード] を [360° ＆ポートレート] に設定してください。



■ポートレート（縦置き）設置のとき の注意



注 意

- 吸気口、排気口をふさがないでください。特に底面に吸気口があるため、プロジェクターの底面から 2cm 以上、側面から 50cm 以上の隙間を必ず空けてください。
- プロジェクターは図のように吸気口を下側に設置してください（それ以外の設置はできません）
- ポートレート投写をする場合は、[光源設定] メニューの [光源モード] を [360° ＆ポートレート] に設定してください。

著作権についてのご注意

営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機の画面サイズ切り換え機能などを利用して画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ネットワークのセキュリティについてのご注意

ネットワークのセキュリティ対策に関しては、お客様ご自身の責任で行ってください。
不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した直接、間接の損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

利用に際しては、プロジェクター本体、コンピューター、ネットワークに適切なセキュリティの設定を行ってください。

- プロジェクターはインターネットに直接接続せず、ファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。

商標について

- Ethernet は Xerox 社の登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。
- Mac、Mac OS および Macintosh は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- HDBaseT^{TM} および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の登録商標です。
- PJLink は JBMIA の登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国および、その他の国や地域における登録または出願商標です。
- AMX は、Harman International Industries, Inc. の登録商標です。
- Crestron®、Crestron RoomView®、Crestron Connected^{TM} は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

第三者のソフトウェアについて

この製品には、以下に示す第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。

- uIP (micro IP) version 0.9

ライセンス条件につきましては、以下のライセンステキストをご確認ください。

Copyright (c) 2001-2003, Adam Dunkels.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

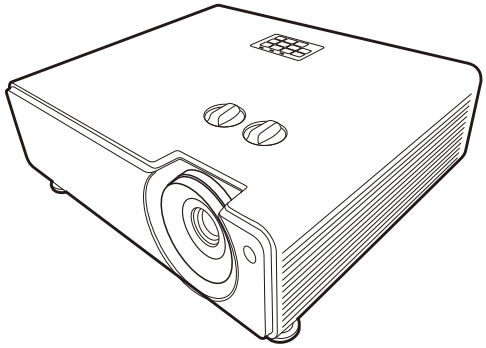
第三者のソフトウェアのサポート

キヤノン株式会社、キヤノンの関係会社、および販売会社は、本プログラムに関するいかなるサポートサービスもいたしません。本プログラムに関する、お客様もしくは他のいかなるお客様からのご質問やお問い合わせにもご回答いたしかねます。

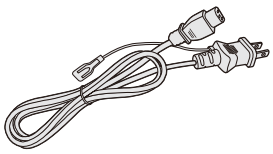
はじめに

同梱品（付属品の確認）

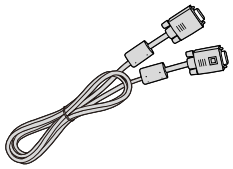
次の同梱品が揃っていることを確認してください。



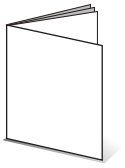
プロジェクター



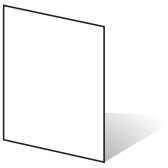
電源コード（1.8 m）



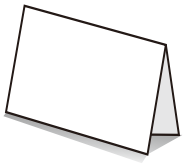
コンピューターケーブル
（1.8 m）(5K.1VC09.501)



重要なおしらせ



かんたんガイド

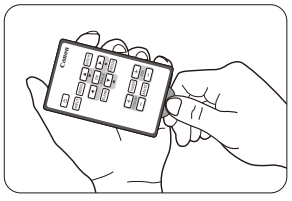


保証書



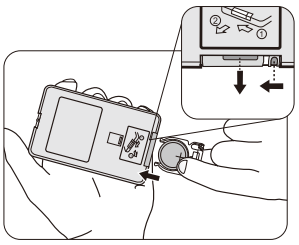
リモコン
（品番：LV-RC08）
電池（品番：CR2025）

初めてリモコンを使用するときは
タブを引き抜いてからリモコンを使用します。



リモコンの電池の交換

1. バッテリーホルダーを取り出します。



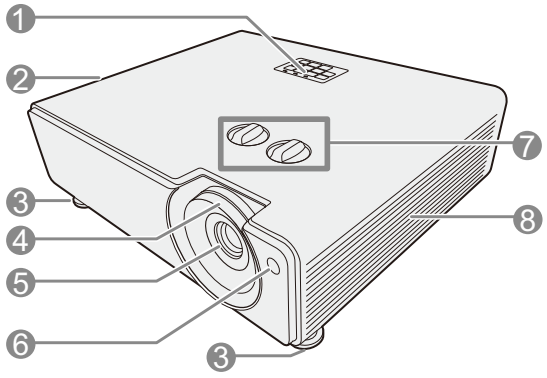
☞図に示す手順にしたがってください。ツマミを左に押しながら、バッテリーホルダーを引き出してください。

2. 新しい電池を挿入します。このときプラス（+）極が外側を向くように挿入してください。
3. バッテリーホルダーをリモコンに押し込みます。

⚠
- 指定以外の電池を使用すると、発熱、破損する恐れがあります。
- 使用済みの電池は、使用説明書の指示に従って廃棄してください。
- 指定以外の電池を使用すると破裂する恐れがあります。使用できる電池は **CR2025** タイプのリチウムコイン電池のみです。
- 使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って廃棄してください。使用済みの電池はすぐに廃棄してください。電池は取り扱いを誤ると破裂する恐れがあります。充電、分解、火に入れるなどしないでください。
- 電池は使用説明書の指示に従い、注意して取り扱ってください。
- 電池はプラス（+）とマイナス（−）の向きに注意し、リモコンに示されている向きに従って正しく入れてください。
- 電池やバッテリーホルダーは子供の手の届かない場所に保管してください。電池やバッテリーホルダーを飲み込んでしまった場合は直ちに医師に診てもらってください。
- リモコンを長期間ご使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 使用済み電池は端子部をセロハンテープで絶縁してから廃棄してください。
- 電池が液漏れを起こし、皮膚などに触れた場合は水でよく洗い流してください。

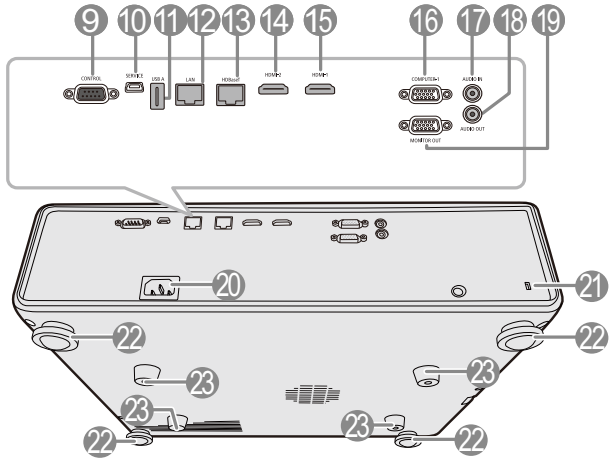
各部のなまえ

正面 / 上面



1. 本体コントロールパネル
   (詳しくは「プロジェクター / リモコン」(23 ページ) を参照してください。)
2. 排気口
3. 調整脚
4. フォーカスリングおよびズームリング
5. 投写レンズ
6. 前面赤外線リモコン受光部
7. レンズシフトダイヤル x 2
8. 吸気口

背面 / 底面

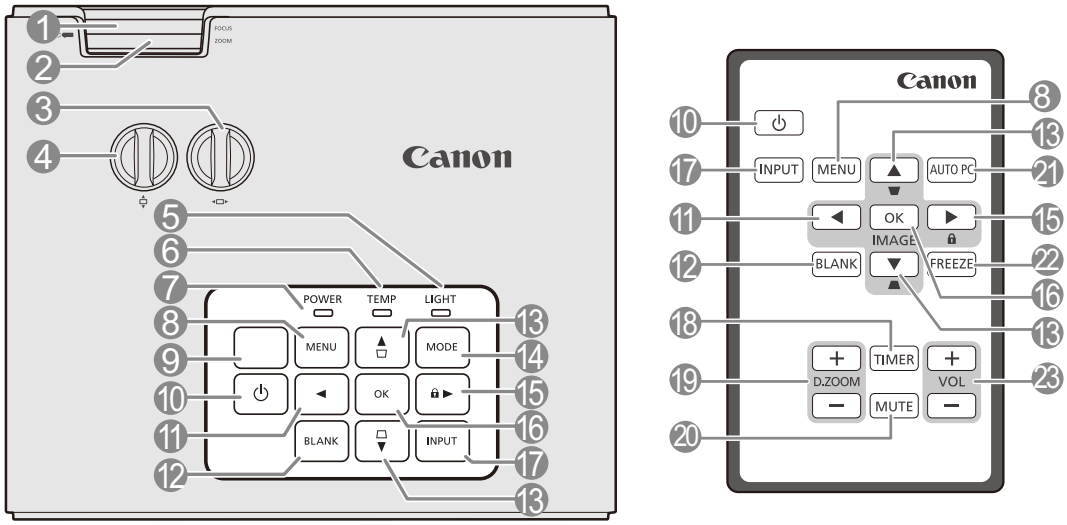


9. コントロール端子
10. サービス端子
11. USB（電源供給用）
12. LAN 端子
13. HDBaseT 入力端子
14. HDMI2 入力端子
15. HDMI1 入力端子
16. COMPUTER 入力端子
17. 音声入力端子（ミニジャック）
18. 音声出力端子（ミニジャック）
19. モニター出力端子
20. 電源コード差し込み口
21. 盗難防止用ロック穴
22. 調整脚
23. 天吊り金具取り付け穴

天吊り金具用ビス：M4x4
ビス穴深さ：12mm

コントロール部および機能

プロジェクター / リモコン



1. フォーカスリング
   投写映像の焦点を調整します。
2. ズームリング
   映像のサイズを調整します。
3. レンズシフトダイヤル
   投写レンズを水平方向に移動します。
4. レンズシフトダイヤル
   投写レンズを上下方向に移動します。
5. **LIGHT**（ライトインジケーター）
   光源の状態を表示します。光源に問題が発生すると、点灯または点滅します。
6. **TEMP**（温度インジケーター）
   プロジェクターの温度が異常に高くなると赤く点灯します。
7. **POWER**（電源インジケーター）
   プロジェクターの動作中に点灯または点滅します。
8. **【MENU】**ボタン
   オンスクリーンディスプレイ（以下OSD）メニューを表示します。前のOSDメニューに戻り、メニューを終了して設定を保存します。
9. 上部リモコン受光部
10. **【⏻（電源）】**ボタン（オン / スタンバイ）
    スタンバイモードと電源オンの状態を切り替えます。
11. **【◀（左）】**ボタン
12. **【BLANK】**ボタン
    映像の表示 / 非表示を切り替えます。
13. キーストーン / 矢印キー
    （▽/▲（上）、△/▼（下））
    投写角度によって生じる映像の歪みを手動で修正します。
14. **【MODE】**ボタン
    イメージモードを選択します。
15. **【▶（右）/🔒】**ボタン
    パネルキーロックを有効にします。
    OSDメニューが有効な場合、#11、#13、#15キーを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。
16. **【OK】**ボタン
    OSDメニューで選んだ項目を確定します。
    本機ではイメージモードの切り替え機能には使用しません。

17.【INPUT】ボタン
入力信号の選択画面を表示します。

18.【TIMER】ボタン
本機では使用しません。

19.【D.ZOOM】ボタン（**+**、**–**）
本機では使用しません。

20.【MUTE】ボタン
音声を一時的に消します。

21.【AUTO PC】ボタン
自動的に最適な投写状態に調整されます。

22.【FREEZE】ボタン
本機では使用しません。

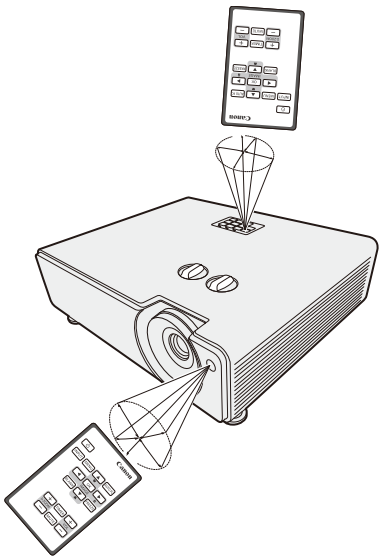
23. 音量キー（**+**、**–**）
音量を調整します。

リモコンの有効範囲

赤外線リモコン受光部は、プロジェクターの正面と上面にあります。また、リモコンと受光部の距離が 8m 以内で使用してください。

リモコンは本体の受光部の正面から約 30° 以内の範囲で使用してください。

リモコンとプロジェクターのリモコン受光部との間に赤外線を遮断する障害物がないことを確認してください。



⚠
- リモコンとプロジェクターの間に障害物があると、リモコンによる操作ができないことがあります。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の光などが直接当たると、リモコンによる操作ができないことがあります。
- 他の機材、リモコンと干渉する場合があります。

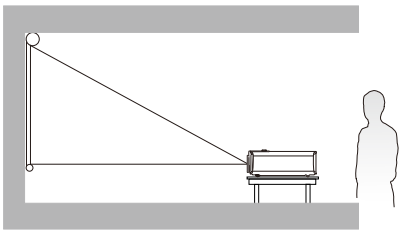
プロジェクターを設置する

設置場所を決める

部屋のレイアウトやお好みで、プロジェクターをどのように設置するか決めます。設置するときは、スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクターとその他の機器の距離や位置などを考慮してください。

本機は次のいずれかの方法で設置することができます。

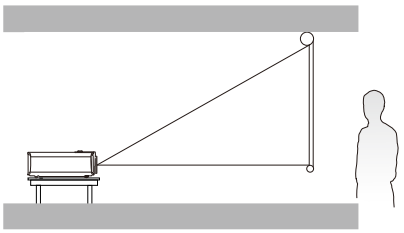
1. 前面投写
プロジェクターをスクリーン正面の机の上に設置する方法です。



2. リア投写
プロジェクターをスクリーン背面の机の上に設置する方法です。

専用の背面投写スクリーンが必要です。

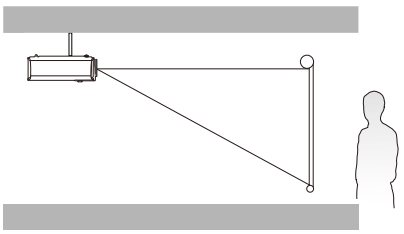
プロジェクターの電源を入れ、
[設置]>[プロジェクターモード] メニューで
[リア投写] を設定してください。



3. リア・天吊り投写
プロジェクターを天井から吊り下げて、スクリーンの背面に設置する方法です。

専用の背面投写スクリーンと、天吊り金具が必要です。

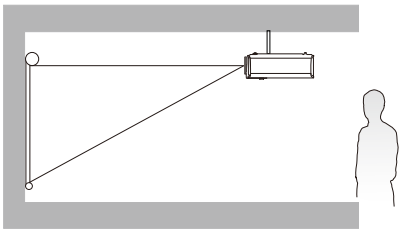
プロジェクターの電源を入れ、
[設置]>[プロジェクターモード] メニューで
[リア・天吊り投写] を設定してください。



4. 天吊り投写
プロジェクターを天井から吊り下げて、スクリーンの正面に設置する方法です。

プロジェクターを天井に取り付ける場合は、プロジェクターの販売店にご相談ください。

プロジェクターの電源を入れ、
[設置]>[プロジェクターモード] メニューで
[天吊り投写] を設定してください。



天井から吊り下げる場合は、本機に合った天吊り金具が必要です。取り付けは専門の技術者に依頼してください。詳しくは、販売店へお尋ねください。

- 上記以外でプロジェクターを天井から吊り下げたり、天吊り金具を不適切な場所に設置した場合、故障が生じる可能性があります。

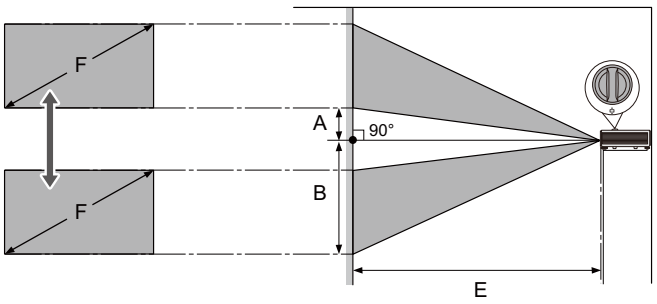
- 天吊りのように高所に設置する場合は必ず落下防止ワイヤーなどの落下防止措置をプロジェクター本体に施してください。
- 上下投写 / 斜め投写の際は 14 ページの注意事項をご参照ください。
- ポートレート（縦置き）設置の際は 15 ページの注意事項をご参照ください。

プロジェクターの配置

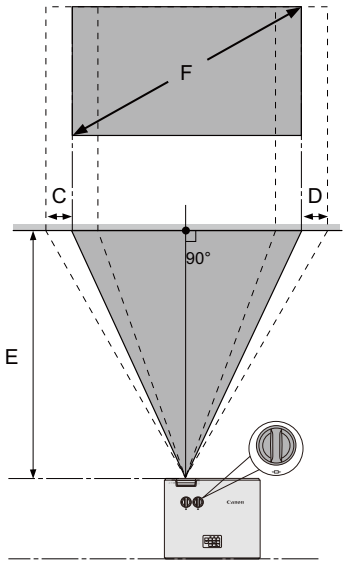
画面サイズは、スクリーンとプロジェクターとの距離（投写距離）によって異なります。

正面投写

- レンズシフト機能を使用して上下方向の位置を調整する場合



- レンズシフト機能を使用して水平方向の位置を調整する場合



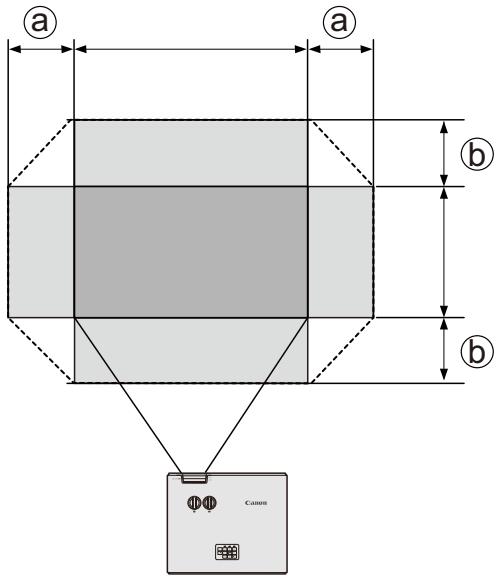
A: レンズ中心部から投写映像の下端までの距離（レンズシフト機能で上下方向が最高値の場合）
B: レンズ中心部から投写映像の下端までの距離（レンズシフト機能で上下方向が最低値の場合）
C: レンズ中心部の移動距離（レンズシフト機能で水平位置が左端の場合）
D: レンズ中心部の移動距離（レンズシフト機能で水平位置が右端の場合）
E: スクリーンとプロジェクターとの距離（投写距離）
F: 投写画像の大きさ

- スクリーンアスペクトと投写映像のアスペクトが 16:9 のとき

画面サイズ		投写映像の大きさ（F）				投写距離（E）				オフセット（A）		オフセット（B）		オフセット（C、D）	
対角		高さ		幅		ワイド端		テレ端							
インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm	インチ	cm
60	152	29	75	52	133	71	180	113	287	2.9	7.5	32.4	82	12.0	31
70	178	34	87	61	155	83	210	132	335	3.4	8.7	37.8	96	14.0	36
75	191	37	93	65	166	88	225	141	359	3.7	9	40.4	103	15.0	38
87	221	43	108	76	193	103	261	164	417	4.3	11	46.9	119	17.4	44
95	241	47	118	83	210	112	285	179	455	4.7	12	51.2	130	19.0	48
100	254	49	125	87	221	118	299	189	479	4.9	12	53.9	137	20.0	51
120	305	59	149	105	266	141	359	226	575	5.9	15	64.7	164	24.1	61
150	381	74	187	131	332	177	449	283	719	7.4	19	80.9	205	30.1	76
180	457	88	224	157	398	212	539	340	862	8.8	22	97.1	247	36.1	92
200	508	98	249	174	443	236	599	377	958	9.8	25	107.9	274	40.1	102
250	635	123	311	218	553	295	749	–	–	12.3	31	134.8	342	50.1	127
300	762	147	374	261	664	354	898	–	–	14.7	37	161.8	411	60.1	153

☞ すべての計測値は概算値となり、実際のサイズと異なる場合があります。
プロジェクターを固定して設置する場合は、プロジェクター光学特性による誤差のため、前もって投写サイズや距離を実測してください。これにより、設置位置に最適な取付位置を知ることができます。

レンズシフト機能で調整する



a: 最大水平範囲 (H × 23%)
b: 最大垂直範囲 (V × 60%)

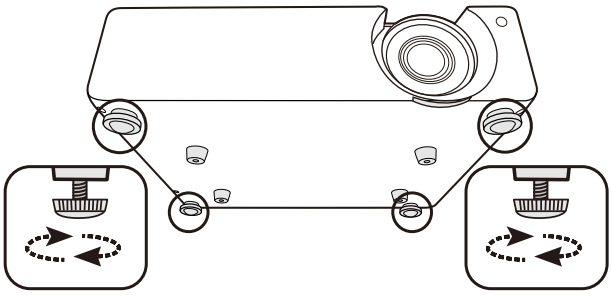
⚠ クリック音が聞こえたらレンズシフトダイヤルの回転の限界となっていますので、回すのを止めてください。回しすぎますと破損の原因となります。

☞ 映像は同時に上下端および左右端に設定することはできません。

映像を調整する

投写角度の調整

プロジェクターには、4 本の調整脚が装備されています。調整脚を使って、映像の高さと投写角度を変更します。映像の高さと投写角度を調整するには、調整脚を回して水平方向の傾きを微調整します。調整脚を元に戻すには、調整脚を反対方向に回します。



プロジェクターが水平に設置されていない場合、またはスクリーンに平行に設置されていない場合は、投写映像が台形にひずみます。この場合「キーストーン補正」(29 ページ) を参照して、台形のひずみを調整してください。

⚠光源が点灯しているときは絶対にレンズをのぞかないでください。光源から強い光が出ているので、目を傷める危険があります。

映像を自動で調整する

必要に応じて画質を最適化する必要があります。リモコンの【**AUTO PC**】ボタンを押します。自動調整機能により周波数およびクロック値が再調整され、3 秒以内に最適な状態で投写されます。

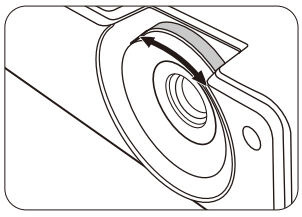
現在の投写状態がスクリーンの左上隅に 3 秒間表示されます。

☞この機能はコンピュータ信号（**Computer**）が選択されている場合にのみ使用できます。

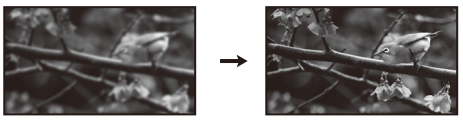
投写サイズとピントを調整する

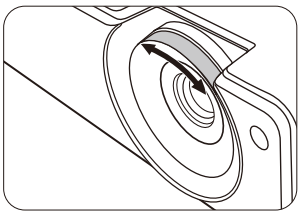
1. ズームリングを使用して、お望みの投写サイズになるよう調整してください。





2. 映像がはっきりと投写されるまで、フォーカスリングを回してください。



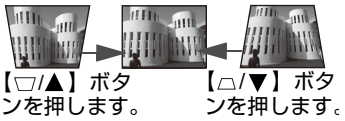


☞ 画面のピントを合わせるときは、**30** 分以上点灯させてから行うことを推奨します。電源を入れた直後は光源の熱の影響でピント位置が安定しない場合があります。（**13** ページ）

キーストーン補正

キーストーン補正とは、投写映像の上部、下部のいずれかが長くなってしまう台形ひずみを補正することです。

- キーストーン補正画面を表示した後、映像の上部が長くなっている時は【▽】ボタンを、映像の下部が長くなっている時は【△】ボタンを押してください。

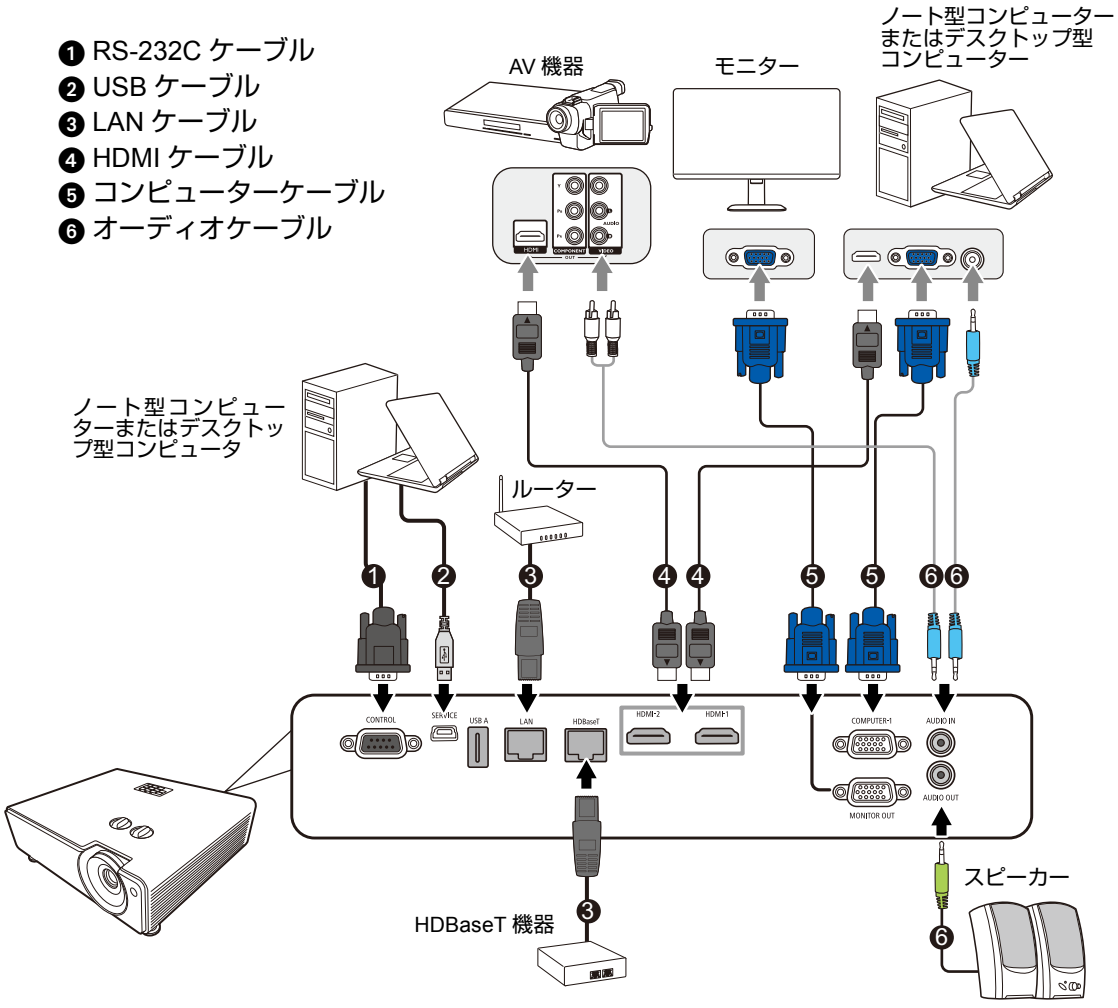


- 垂直台形ひずみは補正できますが、ひずみの補正範囲は限定されます。
- キーストーン補正が実行されると、補正値が表示されます。この値は投写角度ではありません。
- キーストーン補正の調整値の範囲は設置条件によって異なります。
- プロジェクターとスクリーンの設置条件によっては、正しく投写できないことがあります。
- キーストーン補正を行うと、解像度が低下します。また、複雑なパターンで縞が発生したり、直線が曲がって投写されることがありますが、故障ではありません。
- 投写されているビデオ信号の種類やキーストーン補正の設定値により、キーストーン補正中のスクリーンにノイズが表示されることがあります。その場合は、キーストーン補正をノイズが現れないように微調整してください。
- キーストーン補正を行うと、入力信号の種類によっては映像が正しく表示されない場合があります。

接続する

投写する機器をプロジェクターに接続するときは、以下を確認してください。

1. 接続する前にすべての機器の電源が切れていることを確認してください。
2. 各機器を正しい接続ケーブルで接続されていることを確認してください。
3. ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。

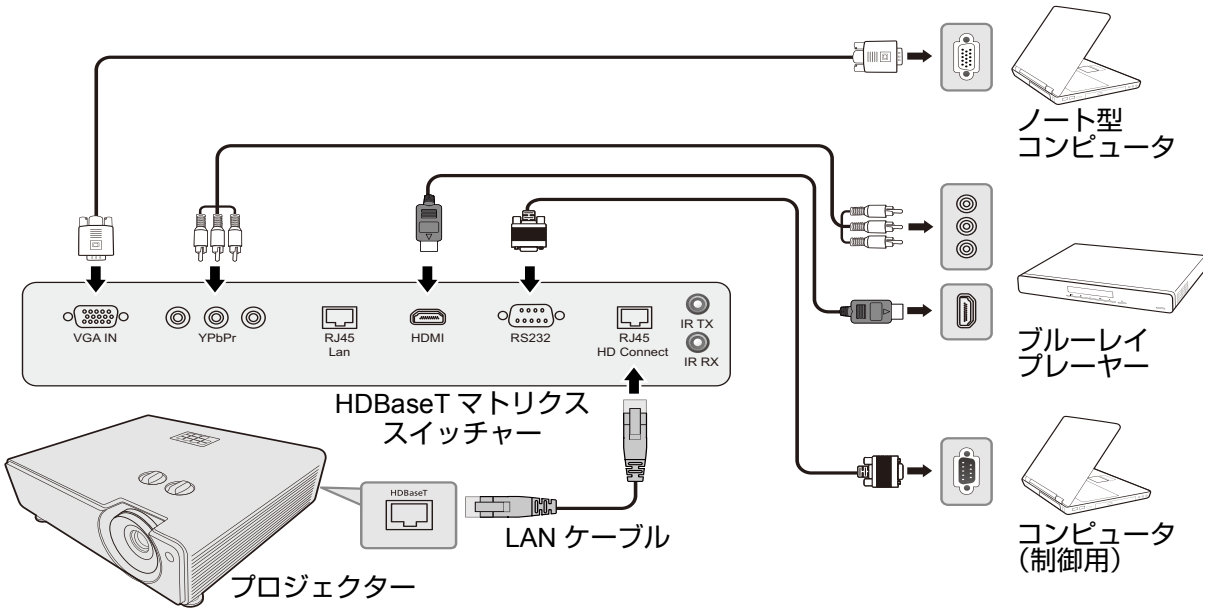


☞
- 上に示す接続図では、一部のケーブルは同梱されていません（「同梱品（付属品の確認）」(20 ページ) を参照してください）。ケーブルはお近くの電気店でお求めください。
- 接続図は参照としてのみ示しています。プロジェクター背面の接続ジャックは機種により異なります。
- ノート型コンピュータでは、プロジェクターと接続するだけでは投写できないことがあります。通常は「FN」キー + モニタ記号が示されたファンクションキーとの組み合わせで、外部モニタを ON/OFF することができます。モニタ記号が示されたファンクションキーを確認し、「FN」キーと同時に押します。ファンクションキーなどキーの組み合わせについては、コンピューターの使用説明書をご覧ください。
- プロジェクターの電源を入れ、映像入力を正しく選択しても映像が投写されない場合は、投写する機器の電源が入っており、正常に機能していることを確認してください。また、信号ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

HDBaseT 経由でさまざまな機器と接続する

HDBaseT は、HD デジタルビデオ、オーディオ、イーサネット、および各種制御信号と通信できる接続規格です。これらの信号を、カテゴリー 5e 以上のケーブル 1 本で最長 100 メートルの距離まで伝送できます。HDBaseT 伝送機器（市販）を使用することにより、HDBaseT 接続を使って、プロジェクターに複数の機器を接続することができます。

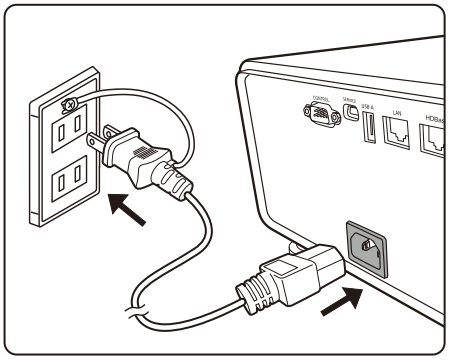
- **RJ45** ケーブルを接続する場合、ケーブルを巻いた状態にしたり、絡んだりさせないでください。信号ノイズや中断の原因となることがあります。
- 下の図は参考例です。実際の配置とは異なることがあります。



- **LAN** ケーブルはカテゴリー **5e** 以上（シールドタイプ対応）を使用してください。
- 伝送可能な距離は最長 **100**m です。
- ご使用の環境によって伝送距離が短くなることがあります。
- **LAN** ケーブルは巻いたり、束ねた状態で使用しないでください。
- 投写中に **LAN** ケーブルを抜き差しすると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は市販されているすべての **HDBaseT** 伝送機器との接続を保証するものではありません。
- 一部の **HDBaseT** 伝送機器を経由して、入力機器を本プロジェクターに接続した場合、正常に表示できないことがあります。

メニューによる機能設定

プロジェクターを起動する



1. 電源コードをプロジェクターとコンセントに差し込みます。電源を入れたら、**POWER**（電源インジケーター）が赤色に点灯することを確認してください。

⚠
- プロジェクターを使用しないときは、電源コードを抜いてプロジェクターの電源を落としてください。
- 感電や火災などを避けるために、プロジェクターの付属品のケーブルを使用してください。
- 安全のために漏電ブレーカーが付いているコンセントをご使用ください。

2. プロジェクターかリモコンの【⏻（電源）】ボタンを押してプロジェクターを起動します。**POWER**（電源インジケーター）が緑色に点滅し、電源が入ると、緑色に点灯します。
   必要に応じて、フォーカスリングを使って映像が鮮明になるようピントを調整してください。

☞
- プロジェクターが十分に冷却されていない場合、約 **90** 秒間冷却ファンが作動します。
- 光源の寿命を長く保つため、プロジェクターの電源を入れてから **5** 分以上経ってから電源を切ってください。
- 電源を入れた後に、画面がちらつくことがあります。これは製品の故障ではありません。

3. ご購入後に初めてプロジェクターの電源を入れたときは、画面の指示に従って言語を選択してください。
4. パスワードの入力を求められた場合、矢印キーを使って 6 桁のパスワードを入力してください。詳しくは「パスワード」(47 ページ) を参照してください。
5. 接続されているすべての機器の電源を入れます。
6. 入力信号を検索し、スクリーンの左上にスキャンされた入力信号が表示されます。入力信号が検出されない場合、入力信号が検出されるまで **[** 信号なし **]** のメッセージが表示されます。
   プロジェクター、またはリモコンの【**INPUT**】ボタンを押しても、入力信号を選択することができます。詳しくは「入力信号を切り替える」(35 ページ) を参照してください。

☞ 入力信号の周波数 / 解像度がプロジェクターの動作範囲を超えた場合、**[** 対応範囲外 **]** というメッセージが表示されます。プロジェクターの表示可能な入力信号に変えるか、入力信号を設定し直してください。詳しくは「対応信号」**(64** ページ **)** を参照してください。

メニューの使いかた

本機には、各種調整や設定をおこなうためのオンスクリーンディスプレイ（以下 OSD）メニューがあります。

以下に OSD メニューの概要を示します。



1. メインメニューアイコン
2. メインメニュー
3. サブメニュー
4. 現在の入力信号
5. 状態
6. ボタン操作ガイド

OSD メニューを使用するには、プロジェクター本体かリモコンの【MENU】ボタンを押します。

- プロジェクター本体かリモコンの【▲/▼/◄/▲】ボタンを押して、メニュー項目を移動します。
- プロジェクター本体かリモコンの【OK】ボタンを押して、選択されたメニュー項目を確定します。

入力信号を切り替える

プロジェクターは同時に複数のビデオ機器（AV 機器）を接続することができます。ただし一度に投写できる機器は 1 台です。

入力信号を自動的に検出するには、**[システム設定：基本]** メニューで **[自動入力サーチ]** 機能を **[オン]** にします。

入力信号は手動で切り替えることもできます。



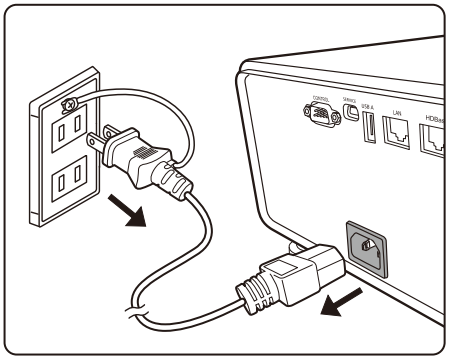
1. プロジェクター、またはリモコンの【**INPUT**】ボタンを押して入力信号選択バーを表示します。
2. 投写する入力信号が選択されるまで【▲/▼（上 / 下）】ボタンを押し、【**OK**】ボタンを押して選択します。（入力）信号が検出されると、選択した入力信号の情報が画面に数秒間表示されます。プロジェクターに複数の機器が接続されている場合、手順 1-2 を繰り返すと別の入力信号を検出することができます。

☞ 入力信号を変えるたびに投写映像の明るさも変わります。

プロジェクターの電源を切る

1. 【⏻】ボタンを押すと確認メッセージが表示されます。(数秒間操作しないとメッセージは消えます。)
2. もう一度【⏻】ボタンを押します。
3. POWER(電源インジケーター)が赤色に点灯し、ファンが停止します。電源コードをコンセントから抜きます。

☞電源コードを抜いても、インジケータライトがしばらく点灯したままになることがありますが、誤動作ではありません。



メニューの操作

メニューのシステム

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューは、選択した信号のタイプにより異なります。
一部のメニュー項目は、プロジェクターが入力信号を検出しなければ有効になりません。プロジェクターと機器が接続されていなかったり、入力信号が検出されない場合は、一部のメニューしか使用できません。

メインメニュー	サブメニュー		オプション
ピクチャー	イメージモード		プレゼンテーション / スタンダード */ sRGB/ シネマ /DICOM/ ユーザー 1/ ユーザー 2/(HDR)*1/(FHD)*2
	ユーザーモード設定	イメージモード選択	プレゼンテーション / スタンダード / sRGB/ シネマ /DICOM/ ユーザー 1/ ユーザー 2
		ユーザーモード名変更	
	明るさ		
	コントラスト		
	色の濃さ		
	色合い		
	シャープネス		
	詳細設定	ガンマ設定	1.6/1.8/2.0/2.1/2.2*/2.3/2.4/2.5/2.6/2.8
		色温度	高 / 中 */ 低
			赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲイン / 赤オフセット / 緑オフセット / 青オフセット
		6 軸色調整	原色
			色相
			ゲイン
			彩度
		MoviePro	カラーエンハンス
			スキントーン
			超解像
	現在のイメージモードをリセット		リセット / キャンセル

☞ * は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

*1 ハイダイナミックレンジの信号情報が入力された場合、自動的にイメージモードは HDR になります。

*2 4K シフト設定がオフの場合は、本モードに固定されます。

メイン メニュー	サブメニュー		オプション
表示	アスペクト比		オート */ リアル /4:3/16:9/16:10
	位置		
	オーバースキャン		
	位相		
	水平ドット数		
	4K シフト		オン */ オフ
設置	プロジェクターモード		前面投写 */ リア投写 / 天吊投写 / リア天吊投写
	テストパターン		オン / オフ *
	光源設定	光源モード	ノーマル */ エコ /360 & ポートレート
		光源情報	光源使用時間
			ノーマル
			エコ
			360 & ポートレート
	高地モード		オン / オフ *
システム設定：基本	言語		English*/ Français / Deutsch Italiano / Español / Русский 繁體中文 / 简体中文 / 日本語 / 한국어 Svenska / Türkçe / Čeština / Português ไทย / Suomi / Magyar / العربية / Nederlands Română / Norsk / Dansk Polski / Казахский / Tiếng Việt
	背景色		緑 / 黒 / 青 *
	起動時画面		黒 / 青 /Canon*
	オートパワーオフ		無効 /5 分 /10 分 /15 分 /20 分 */25 分 / 30 分
	ダイレクトパワーオン		オン / オフ *
	メニュー設定	メニュー位置	中央 */ 左上 / 右上 / 右下 / 左下
		メニュー表示時間	常にオン /5 秒 /10 秒 /15 秒 */20 秒 / 25 秒 /30 秒
		アラームメッセージ	オン / オフ *
	入力名変更		
	自動入力サーチ		オン */ オフ

☞ * は工場出荷時の設定です。

4Kシフトと、自動入力サーチは、一時的な設定で保存されません。再起動時に、自動的にオンに戻ります。

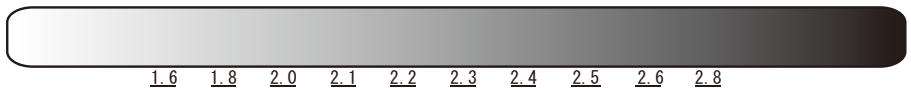
メインメニュー	サブメニュー		オプション
システム設定：詳細	HDR*1	HDR	自動 */SDR
		EOTF	低 / 中 */ 高
	オーディオ設定	音量	
		ミュート	オン / オフ *
	HDMI 設定		自動 */ フルレンジ / リミテッドレンジ
	パスワード	パスワードの変更	
		パワーオンロック	オン / オフ *
	パネルキーロック		オン / オフ *
	制御ポート設定		RS232/LAN*/HDBaseT
	ネットワーク設定	有線 LAN	ステータス
			DHCP　オン / オフ *
			IP アドレス
			サブネットマスク
			デフォルトゲートウェイ
			DNS サーバー
			適用
		PJLink 認証	オン / オフ *
		PJLink パスワードの変更	
		AMX デバイス検索	オン / オフ *
		MAC アドレス	
	待機 LAN	ネットワークのスタンバイモードを有効にする	オン / オフ *
		ネットワークのスタンバイモードを自動的に無効にする	20 分 */1 時間 /3 時間 /6 時間 /96 時間
	全設定をリセット		リセット / キャンセル *
情報	入力		
	イメージモード		
	解像度		
	カラーフォーマット		
	光源使用時間		
	ファームウェアバージョン		

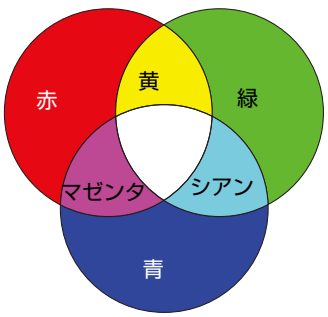
☞ * は工場出荷時の設定です。
*1 イメージモードが HDR でないときはグレーアウトになります。

各メニューの説明

【ピクチャー】メニュー

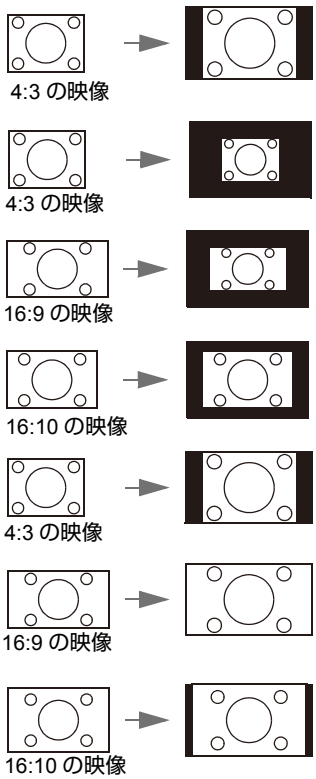
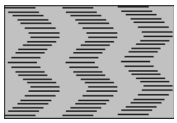
機能	説明
イメージモード	あらかじめ定義したイメージモードを利用すると、ご使用の映像入力に適したプロジェクターの映像を設定することができます。 • プレゼンテーション：明るい部屋での投写、文字を中心とした画像の投写に適しています。 • スタンダード：コンピューターやカラフルな画像の投写に適しています。 • sRGB：sRGB 対応のデジタルカメラ画像の投写に適しています。sRGB 規格と互換性があります。 • シネマ：動画の投写に適しています。 • DICOM：医療用などの画像の投写に適しています。このプロジェクターは医療用画像表示用モニタではないため、読影や診断には使用できません。 • ユーザー 1/ ユーザー 2：任意に設定した画質の設定を保存できます。 保存した設定をイメージモードとして選択できます。 • HDR：入力信号が HDR 信号の場合、最適なガンマと色味で表現されます。
ユーザーモード設定	イメージモード選択 このプロジェクターにはあらかじめ設定されているイメージモードでお好みの投写ができない場合、任意に設定できる画質の設定を 2 種類まで保存できます。[ユーザー 1] はプレゼンテーションモードをベースにしたコンピューター用で、[ユーザー 2] はスタンダードモードをベースにしたビデオ用の設定です。 1. [ピクチャー] > [イメージモード] の順で選びます。 2. 【◀/▶】ボタンを押して [ユーザー 1] か [ユーザー 2] を選びます。 3. 【▼】ボタンを押してユーザーモード設定を選択し、次に【OK】ボタンを押してください。するとユーザーモード設定ページが表示されます。 4. ピクチャーモード選択を選択し、【OK】ボタンを押します。 5. 【▲/▼】ボタンを押して、用途に最も合ったピクチャーモードを選択します。 6. 【OK】ボタンを押した後、【MENU】ボタンを押してピクチャーメニューに戻ります。 7. 設定値を変更したいサブメニュー項目を【▼】ボタンで選び、【◀/▶】ボタンで値を変更します。変更値が選択したユーザー設定として保存されます。

機能	説明
ユーザー モード設定	ユーザーモード名変更 カスタマイズしたピクチャーモード（ユーザー 1/ ユーザー 2）に別の名前を付けます。新しい名前はアルファベット（A-Z, a-z）、数字（0-9）およびスペース（_）を使用し 9 文字以内で作成できます。 1. [ピクチャー] > [イメージモード] の順で選びます。 2. 【◀/▶】ボタンを押して [ユーザー 1] か [ユーザー 2] を選びます。ボタンを押してください。するとユーザーモード設定ページが表示されます。 3. 【▼】ボタンを押してユーザーモード設定を選択し、次に【OK】ボタンを押してください。するとユーザーモード設定ページが表示されます。 4. 【▼】ボタンを押して [ユーザーモード名変更] を選択し、次に【OK】ボタンを押してください。するとユーザーモード名変更ページが表示されます。 5. 【▲/▼/◀/▶】ボタンで文字を選択します 6. 終了後、【MENU】ボタンを押します。
明るさ	映像の明るさを調整します。映像の黒い領域が黒く表示され、暗い領域の細部が見えるように明るさを調整してください。
コントラスト	高いほどコントラストが大きくなります。白のピークレベルを設定することができます。設定をおこなう前に選択した入力と投写する環境に合わせて、[明るさ] の設定をおこなってください。
色の濃さ	設定値を低くするほど、彩度が低くなります。設定値が高すぎると、映像の色が不自然に強調されることがあります。
色合い	色合い高くするほど緑がかった映像になり、低くするほど赤みがかった映像になります。
シャープネス	高くするほど映像がシャープになります。
詳細設定	ガンマ設定 ガンマとは、入力ソースと映像の輝度の関連性のことです。 • 1.6/1.8/2.0/2.1: 必要に応じてこれらの値を選択します。 • 2.2/2.3: 映像の輝度を上げます。明るい環境、会議室、リビングルームに適しています。 • 2.4/2.5: 暗い環境での映画鑑賞に適しています。 • 2.6/2.8: ほとんどが暗いシーンの映画鑑賞に適しています。 高輝度 低コントラスト 低輝度 高コントラスト  1.6 1.8 2.0 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 2.8

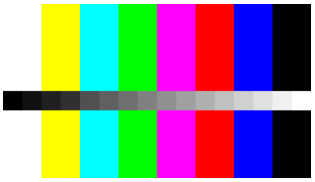
機能	説明
詳細設定	色温度 色温度 * 設定のオプションは、選択した入力信号の種類によって使用できない場合があります。 1. [高]：映像は青みがかった色で表示されます。（寒色） 2. [中]：映像は通常の色で表示されます。 3. [低]：映像は赤みがかった色で表示されます。（暖色） * 色温度について： 「白」とされる色合いは、用途に応じて多数存在します。白色を表すためによく使用される方法に「色温度」があります。色温度の低い白色は赤みがかった白に見えます。色温度の高い白色は青みがかった白に見えます。 次のオプションを選択すると、任意の色温度を設定できます。 • 赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲイン：赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。 • 赤オフセット / 緑オフセット / 青オフセット：赤、緑、青の輝度レベルを調整します。
	6 軸色調整 6 軸色調整で調整できるのは、6 色（赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄）です。それぞれの色を選択し、その色の範囲と彩度を個別に調整することができます。 • 原色：赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの中から色を選択します。 • 色相：範囲を広げると、隣り合う 2 つの色が含まれる割合も増えます。それぞれの色がどのように関連し合っているかについては、図を参照してください。 例えば赤を選択し、色相の範囲を 0 にした場合、投写映像の中では純粋な赤だけが選択されます。色相の範囲を広げると、黄に近い赤やマゼンタに近い赤も含まれるようになります。  • ゲイン：適切な値に設定します。選択した原色のコントラストレベルを調整します。調整した値はすぐに反映されます。 • 彩度：適切な値に設定します。調整した値はすぐに反映されます。 ☞ 「彩度」とはビデオ映像の色の量のことです。値を低く設定するほど、彩度が低くなります。**0** に設定すると、映像から完全に色が抜けてしまいます。彩度が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。

機能	説明
詳細設定	Movie Pro • カラーエンハンス：彩度を細かく調整することができます。彩度、細かなグラデーション、中間色や微妙な色合いを独自のアルゴリズムで調整します。 • スキントーン：人肌に特化した色相を調整します。 • 超解像：色、コントラスト、質感などに関して、解像感を大幅に向上させます。
現在のイメージモードをリセット	選択したイメージモード（プリセットモード、ユーザー 1、ユーザー 2 含む）のすべての調整値を工場出荷時設定に戻します。 1. 【OK】ボタンを押します。すると確認のメッセージが表示されます。 2. 【◀/▶】ボタンを押して [リセット] を選択し、【OK】ボタンを押してください。現在のイメージモードが工場出荷時の設定に戻ります。

【表示】メニュー

機能	説明
アスペクト比	接続した機器の入力信号によって、映像の縦横比を設定するオプションが複数あります。 • オート：入力映像の縦横比を維持しながら、プロジェクターの解像度に合わせて、映像を拡大 / 縮小します。 • リアル：映像が元の解像度で投影され、表示領域内に収まるようサイズが変更されます。 • 4:3：映像がスクリーンの中央に 4:3 で表示されるように拡大 / 縮小します。 • 16:9：映像がスクリーンの中央に 16:9 で表示されるように拡大 / 縮小します。 • 16:10：映像がスクリーンの中央に 16:10 で表示されるように拡大 / 縮小します。 
位置	イメージ位置調整ページが開きます。投写映像を移動させるには方向矢印ボタンを使用します。 ☞ コンピューター信号が **Computer** のときのみ動作します。
オーバースキャン	4 辺の画質がよくない場所を隠します。値を大きくするほどより多くのエリアがが隠されます。0 に設定すると、すべての映像が表示されます。
位相	映像のひずみを低減するため、クロック位相を調整できます。 ☞ コンピューター信号が **Computer** のときのみ動作します。 
水平ドット数	映像の幅を調整します。 ☞ コンピューター信号が **Computer** のときのみ動作します。
4K シフト	映像の解像度を切り替えます。 • オフ：FHD 解像度に切り替えます。 ☞ イメージモードは自動的に固定モード（**FHD**）に設定されます。 • オン（推奨）：4K 解像度に切り替えます。

【設置】メニュー

機能	説明
プロジェクターモード	プロジェクターを天井やスクリーンの背後に設置することができます。詳しくは「設置場所を決める」(25 ページ) をご覧ください。
テストパターン	画像サイズとフォーカスを調整し、投写画像に歪みがないことを確認します。テストパターンを閉じるには、このメニューを押してオフを選択します。
光源設定	• 光源モード：光源モードの中から適切なモードを選びます。詳しくは「光源を長く使用するには」(56 ページ) をご覧ください。 • 光源情報：詳しくは「光源時間を知るには」(56 ページ) をご覧ください。
高地モード	海抜 1,201m ～ 3,000m、温度 5 ～ 30 ℃の周辺環境では、高地モードを使用することをお勧めします。 「高地モード」での操作は、システムの全体の冷却と性能を向上させるため、ファンの回転速度を増加するため、ノイズのレベルが高くなることがあります。 上記以外の条件下で本機を使用すると、過熱から保護するために自動シャットダウンされることがあります。これらの症状を解決するには高地モードに切り替える必要があります。ただし、このプロジェクターがあらゆる過酷な条件下で動作することを示すものではありません。 ☞ 高度が **0m** ～ **1,200m**、周囲温度が **0** ℃～ **40** ℃の場合は、高地モードを使用しないでください。プロジェクターが冷却され過ぎます。

【システム設定：基本】メニュー

機能	説明
言語	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの言語を設定します。
背景色	プロジェクターの背景色を設定します。
起動時画面	プロジェクター起動時に表示される画面を選択できます。
オート パワーオフ	設定した時間を経過しても入力が検出されないときに、自動的にプロジェクターの電源を切り、不要な光源の消費を防ぎます。
ダイレクト パワーオン	電源コードから電源が共有されると、プロジェクターは自動的に起動します。
メニュー設定	• メニュー位置：オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニュー位置を設定します。 • メニュー表示時間：最後にキーを押してから OSD メニューの表示が消えるまでの時間を設定します。 • アラームメッセージ：アラームメッセージをオンまたはオフにします。
入力名変更	現在の入力ソースの名前を別の名前に変更します。入力名変更ページで【▲/▼/◄/►】および【OK】を使って接続した入力ソースの名前を設定します。設定したら【MENU】を押して、変更を保存します。
自動入力 サーチ	プロジェクターで自動的に入力ソースを検索するかどうかを設定します。

【システム設定：詳細】メニュー

機能	説明
HDR	• HDR 本機は、HDR 入力ソースに対応しています。これは入力ソースのダイナミックレンジを自動的に検出し、映像のガンマと色味を最適化します。 手動で SDR に強制的に設定することができます。 • EOTF プロジェクターは、入力ソースに応じて映像の輝度レベルを自動調整できます。通常は、デフォルト設定「中」でご使用頂くことを推奨します。 投写画面の明るさが暗く感じる場合は、「低」でご使用ください。 階調性を優先したい場合は、「高」でご使用ください。
オーディオ設定	• 音量：音量を調整します。 • ミュート：一時的に音を消します。
HDMI 設定	• 自動：入力信号の HDMI 範囲を自動検出します。 • フルレンジ：HDMI 色域を 0-255 に設定します。 • リミテッドレンジ：HDMI 色域を 16-235 に設定します。
パスワード	プロジェクターが不正に使用されるのを防ぐため、パスワードによるセキュリティを設定することができ、正しいパスワードを知っている人のみが使用することができます。パスワードの入力を続けて 5 回間違えると、プロジェクターの電源が自動的に切れます。 ⚠ 万が一パスワードを忘れてしまった場合に備え、パスワードをメモしておき、安全な場所に保管しておいてください。 パスワードが設定されていない場合、新しいパスワードを設定するように求められます。 オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの表示のように、矢印キー【▲/►/▼/◄】はそれぞれ 4 つの数字（1,2,3,4）を表し、6 桁のパスワードを設定します。 パスワードを入力すると、数字が ****** と表示されます。 • **パスワードの変更** 新しいパスワードに変更する前に、現在のパスワードを入力します。

機能	説明
パスワード	• パワーオンロック 設定を変更する前に、現在のパスワードを入力します。 ⚠ 一度パスワードを設定し、パワーオンロックを［オン］に設定すると、プロジェクターの電源を入れるたびにパスワードを入力する必要があります。正しいパスワードを入力しなければ、プロジェクターを使用することができません。 ⚠ パスワードを忘れた場合、次の手順でパスワード機能をリセットします。 **1.** プロジェクターの電源をオフにします。 **2.** 電源コードを抜きます。 **3.**【⏻(電源)】ボタンと【🔒/▶】ボタンを押したまま電源コードを差し込みます。 **POWER**（電源インジケーター）ランプが消えます。 これでパスワード機能がリセットされパワーオンロックがオフになります。
パネルキーロック	プロジェクターのコントロールキーをロックすると、設定が誤って変更されることを防ぐことができます。[パネルキーロック] がオンになっているときは、コントロールキーは【⏻(電源)】ボタンを除き、動作しません。 パネルキーロックを解除するには、プロジェクターのいずれかのボタンを 1 つ押し、パネルキーロック警告を表示します。警告が表示された状態で、プロジェクター、またはリモコンの【🔒/▶】ボタンを 3 秒間押したままにします。 ⚠ パネルキーロックが有効になっていても、リモコンキーは使用できます。パネルキーロックを無効にしないでプロジェクターの電源を切った場合、次回電源を入れたときはロックされた状態となります。
制御ポート設定	RS232/LAN 端子（プロジェクターのコントロール端子またはプロジェクターの LAN 入力端子）経由、または HDBaseT 端子（プロジェクターの HDBaseT 入力端子）経由

<table>
<tr><th>機能</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>ネットワーク設定</td><td>本機にはネットワーク機能があります。コンピューターとプロジェクターが同じローカルエリアネットワークに接続されていると、Web ブラウザを使用してコンピューターからプロジェクターを管理、制御することができます。
• 有線 LAN
• ステータス：接続状態を表示します。
• DHCP：DHCP 環境下で [プロジェクター IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]、[DNS サーバー] の設定を自動的に取得する場合は、[オン] を選びます。DHCP 以外の環境にいる場合は、[オフ] を選択し、以下の設定をします。
<table><tr><td>• IP アドレス</td><td rowspan="4">DHCP が [オフ] に設定されている場合にのみ使用できます。
【◀/▶】を使用して列を選択し、
【▲/▼】を使用して値を調整します。</td></tr><tr><td>• サブネットマスク</td></tr><tr><td>• デフォルトゲートウェイ</td></tr><tr><td>• DNS サーバー</td></tr><tr><td>• 適用</td><td>これらの設定を適用します。</td></tr></table>• PJLink 認証：PJLink アプリケーションを介したプロジェクターへの不正なアクセスを防ぐぎます。デフォルトのパスワードは「admin」です。[オン] を選択すると、PJLink のパスワードを変更できます。
• PJLink パスワードの変更：現在のパスワードを入力します。【◀/▶(右 / 左)】ボタンを押して欄を選び、入力する文字を【▲/▼(上 / 下)】ボタンを押して 0 ～ 9、A ～ Z、a ～ z、または記号の中から選びます。入力が終わったら【OK】ボタンを押して確定します。
☞ パスワードを忘れた場合は、「projectorcontroller」というパスワードを使用してください。
• AMX デバイス検索：この機能を [オン] にしたとき、プロジェクターは AMX コントローラーで検出されます。
• MAC アドレス：このプロジェクターの MAC アドレスを表示します。</td></tr>
</table>

機能	説明
待機 LAN	• ネットワークのスタンバイモードを有効にする：プロジェクターがスタンバイモードのときにネットワーク機能が使用できます。 • ネットワークのスタンバイモードを自動的に無効にする：スタンバイ中にネットワーク通信がない状態が一定時間経過すると、ネットワーク機能が無効になります。 たとえば、20 分に設定した場合、20 分間ネットワーク通信がない状態が続くと自動的にネットワークスタンバイモードが無効になります。
全設定をリセット	すべての設定を工場出荷時の値に戻します。 ☞ 以下の設定は現在の設定値のまま維持されます。 **[** ピクチャー **]**、**[** アスペクト比 **]**、**[4K** シフト **]**、**[** イメージモード **]**、**[** 光源モード **]**、**[EOTF]**、**[** オーディオ設定 **]**、**[** セキュリティー設定 **]**、**[** ネットワーク設定 **]**、**PJLink** パスワード

【情報】メニュー

機能	説明
入力	現在の入力信号を表示します。
イメージモード	選択されたイメージモードを表示します。
解像度	入力信号の解像度を表示します。
カラーフォーマット	入力信号のカラーフォーマットを表示します。
光源使用時間	光源の使用時間を表示します。
ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンを表示します。

Crestron Connectedで連携操作する

・本機はCrestron Connectedに対応しており、Crestron RoomViewアプリケーションから一括監視および制御可能です。

・本機とCrestron Control Systemを連携させる場合、別途ツールが必要になります。設定方法については、販売会社にお問い合わせください。

PJLink アプリケーションを使ってプロジェクターを操作する

本機は、PJLink 標準プロトコルに対応し、共通のアプリケーションを使ってモデルや製造元が異なるプロジェクターの操作の管理や監視をすることができます。

PJLink について

- PJLink 機能を使用するには、PJLink アプリケーションが必要です。
- PJLink の仕様については、ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA) のホームページをご覧ください。(http://pjlink.jbmia.or.jp/)
- 本機は、JBMIA PJLink クラス 1 の規格に準拠しています。また、PJLink クラス 1 が定義するすべてのコマンドに対応しており、PJLink 標準規格バージョン 1.4 でその準拠が確認されています。

パスワード機能の使いかた

PJLink アプリケーションを介したプロジェクターへの不正なアクセスを防ぐため、プロジェクターにパスワードを設定することができます。パスワードの設定について詳しくは、「ネットワーク設定」(49 ページ) を参照してください。

PJLink のコマンド

本機は、プロジェクターを制御する標準プロトコル PJLink をサポートしています。サポートされているコマンドは以下のとおりです。

コマンド	説明	備考（パラメータ）
POWR	電源コントロール	0 = 電源オフ 1 = 電源オン
POWR?	電源の状態について問い合わせます	0 = スタンバイ 1 = 電源オン
INPT	入力切り替え	11 = COMPUTER1 31 = HDMI1 32 = HDMI2 51 = HDBaseT
INPT?	入力切り替えについて問い合わせます	
AVMT	ミュートコントロール	10 = BLANK 無効 11 = BLANK 有効 20 = オーディオのミュート無効 21 = オーディオのミュート有効 30 = BLANK およびオーディオのミュート無効 31 = BLANK およびオーディオのミュート有効
AVMT?	ミュートの状態について問い合わせます	
ERST?	エラー状態について問い合わせます	最初のバイト：ファンエラー、0 または 2 2 番目のバイト：光源エラー、0 または 2 3 番目のバイト：温度エラー、0 または 2 4 番目のバイト：常に 0 5 番目のバイト：常に 0 6 番目のバイト：その他のエラー、0 または 2 * 0 または 2 の意味は次のとおりです。 0 = エラー検出なし、2 = エラー
LAMP?	光源状態について問い合わせます	1 番目の値（1 ～ 4 桁）：累積光源作動時間数（光源モードが［エコ］のときで計算された光源の動作時間（時間）を示します。） 2 番目の値：0 = 光源オフ、1 = 光源オン
INST?	有効な入力について問い合わせます	次の値が返ります。 「11　31　32　51」
NAME?	プロジェクター名について問い合わせます	コマンドは **[Tools]** ページで指定したプロジェクター名で応答します。
INF1?	製造元について問い合わせます	「Canon」が返ります。
INF2?	モデル名について問い合わせます	「LX-MH502Z」が返ります。

INF0?	その他の情報について問い合わせます	「4K UHD」が返ります。
CLSS?	クラス情報について問い合わせます	「1」が返ります。

☞
- 入力信号がスクリーンに表示された場合にのみ、**PJLink**「**INPT?**」に対する応答が返ります。入力信号が何もない場合は、「**ERR3**」が返ります。
- 次の状況では、上記の操作がおこなえない、あるいはデータの監視が正しくおこなわれない場合があります。
  - スタンバイ中
  - 入力ソース切り替え中
  - コマンド処理中
  - **AUTO PC** 実行時
  - 電源を入れた後、スプラッシュスクリーンが消える前
- **1** 台のコンピュータにつき **1** 台のプロジェクターの操作または監視をします。
- **PJLink** を使用して操作または監視をする方法については、使用する **PJLink** アプリケーションの取扱説明書を参照してください。
- 問い合わせコマンドを発信してプロジェクターの動作状態を監視する時は、プロジェクターが前回送信した問い合わせコマンドの応答を受信してから、次の問い合わせコマンドを送信してください。

用語集

下記の用語の詳しい説明については、市販されている技術書をお読みください。

用語	説明
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。このプロトコルは、ネットワークに接続された機器に IP アドレスを自動的に割り当てます。
IP アドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを識別するための数字によるアドレス。
サブネットマスク	IP アドレスで分割されたネットワーク（またはサブネット）のネットワークアドレスが使用するビット数を定義するための数値。
デフォルトゲートウェイ	サブネットマスクで分割されたネットワーク（サブネット）間で通信するためのサーバー（またはルーター）。

メンテナンス

プロジェクターのお手入れ

レンズの清掃

レンズの表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズをクリーニングします。レンズを清掃する前に、必ずプロジェクターの電源を切り、冷却させてください。

- レンズにホコリや汚れが付いたときは、最初にブロアーで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから柔らかい布で汚れを軽く拭いてください。有機溶剤を含むクリーナーなどは使用しないでください。
- 研磨パッド、アルカリ性 / 酸性クリーナー、研磨粉、アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性溶剤を絶対に使用しないでください。長期間ゴムやビニール材と接触すると、プロジェクターの表面やキャビネットの材料が損傷することがあります。

プロジェクター本体のクリーニング

プロジェクターのお手入れを行う前に、「プロジェクターの電源を切る」(36 ページ) に記載されている手順でプロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いてください。

- ほこりや汚れを取り除くには、柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
- 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤に布を浸してよく絞り、プロジェクターを拭きます。
- 本体のメンテナンスの際に接着剤・潤滑剤・油・アルカリ性洗剤などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となりますので使用しないでください。

☞ワックス、アルコール、ベンジン、シンナーなどの化学洗剤を使用しないでください。これらはケースを損傷する可能性があります。

プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管するときは、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が、適用範囲内であることを確認してください。詳しくは、「注意」(11 ページ) を参照するか、販売店にご相談ください。
- 調整脚を格納します。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクターを梱包時の状態にします。

光源について

光源時間を知るには

プロジェクターが動作している間、プロジェクターに内蔵されたタイマーが光源の使用時間（時間単位）を自動的に計算します。

光源の使用時間を調べるには：

- [情報] メニューに移動します。
- [設置] > [光源設定] に移動します。

光源を長く使用するには

- [光源モード] を設定する

[光源設定] > [光源モード] に移動し、◄ /► ボタンを押して、利用可能な光源モードからお好みのものを選択します。

プロジェクターを [エコ]/[360° ＆ポートレート] モードに設定すると、電力消費量を低減することができます。

光源モード	説明
ノーマル	光源の明るさを最大にします。
エコ	明るさを下げることで、電力消費量とファンのノイズを低減します。
360° ＆ポートレート	明るさを下げることで、電力消費量を低減します。投写角度を ±45° 以上で設置する場合、およびポートレート投写をする場合に選択します。詳しくは「ポートレート（縦置き）設置のときの注意」(15 ページ) を参照してください。

- オートパワーオフを設定する

指定した時間を経過しても入力信号が検出されないとき、電力消費量を低減するため、自動的にプロジェクターの電源を切ることができます。

[オートパワーオフ] を設定するには、[システム設定 : 基本]>[オートパワーオフ] に移動し、◄ /► ボタンを押します。

☞
- 投写映像の見かけ上の明るさは、周囲の照明の状況や、入力信号のコントラスト / 明るさ設定により変化し、投写距離に直接比例します。
- 光源の明るさは使用時間とともに低下しますが、これは故障ではありません。

付録

LED インジケーターの表示について

ライト			動作状態
POWER	TEMP	LIGHT	
電源の状況			
赤点灯	オフ	オフ	スタンバイ状態です。
緑点滅	オフ	オフ	電源を入れています。
緑点灯	オフ	オフ	通常動作状態です。
オレンジ点滅	オフ	オフ	通常の電源オフ時の冷却中です。
緑点灯	オフ	赤点灯	カラーホイールの初期化に失敗しました。
赤点滅	オフ	オフ	スケーラーシャットダウンに失敗しました(データ中止)。
光源の状況			
オフ	オフ	赤点灯	光源エラーを検知しました。
オフ	オフ	赤点滅	光源が点灯していません。
温度の状況			
赤点灯	赤点灯	オフ	ファンエラー 1 です。ファンの回転数が異常です。
赤点灯	赤点滅	オフ	ファンエラー 2 です。ファンの回転数が異常です。
赤点灯	緑点灯	オフ	ファンエラー 3 です。ファンの回転数が異常です。
赤点灯	緑点滅	オフ	ファンエラー 4 です。ファンの回転数が異常です。
赤点滅	赤点灯	オフ	ファンエラー 5 です。ファンの回転数が異常です。
赤点滅	赤点滅	オフ	ファンエラー 6 です。ファンの回転数が異常です。
赤点滅	緑点灯	オフ	ファンエラー 7 です。ファンの回転数が異常です。
赤点滅	緑点滅	オフ	ファンエラー 8 です。ファンの回転数が異常です。
緑点灯	赤点灯	オフ	温度 1 エラー（制限温度、55 ℃を超えています)。

故障かなと思ったら

? プロジェクターの電源が入らない

原因	対応
電源が正しく接続されていない。	電源コードをプロジェクターの電源コード端子とコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認してください。
冷却中にプロジェクターの電源を入れようとしている	冷却が終わるまでお待ちください。

? 映像が映らない

原因	対応
ビデオ機器の電源が入っていないか、正しく接続されていない。	ビデオ機器の電源を入れ、接続ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
プロジェクターが正しく映像機器に接続されていない。	接続を確認してください。
入力信号が正しく選択されていない。	プロジェクターまたはリモコンの**【INPUT】**ボタンで正しい入力信号を選択してください。

? 映像が鮮明でない

原因	対応
投写レンズの焦点が合っていない。	フォーカスリングで焦点を合わせてください。
PC 映像が安定しない。	リモコンの**【AUTO PC】**ボタンを押して [オート **PC**] をおこなってください。

? リモコンが機能しない

原因	対応
電池が切れている。	新しい電池に交換してください。
リモコンとプロジェクターの間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。
プロジェクターからの距離が遠すぎる。	リモコン受光部から 8 m 以内の距離で操作してください。

⑦パスワードが間違っている

原因	対応
パスワードを忘れた。	詳しくは「パスワード」(48 ページ) を参照してください。

⑦**Web** ブラウザに **Web** ページが表示されない

原因	対応
LAN コントロール設定または LAN ケーブル接続について、問題がある可能性があります。	LAN コントロール設定を確認してください。詳しくは「ネットワーク設定」(49 ページ) を参照してください。LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
プロジェクターのネットワーク設定が反映されていない、またはブラウザのアドレスバーに入力したプロジェクターの IP アドレスが間違っている。	ブラウザにて、Web ページを再度読み込んでください。 Web ページの更新を行っても表示されない場合は、プロジェクターの IP アドレスを確認してください。

仕様

プロジェクターの仕様

型名		LX-MH502Z
表示方式		1チップ DLP®
光学方式		時分割色抽出・順次表示
表示素子	形式	DMD
	サイズ / アスペクト比	0.47 型 x 1 / 16:9
	駆動方式	DLP® x 1 チップ
	有効画素数	2,073,600（1920 x 1080）
	解像度 （4K シフト オン / オフ）	8,294,400（3840 x 2160）/ 2,073,600（1920 x1080）
投写レンズ	ズーム比	1.6 倍
	ズーム / フォーカス方式	手動 / 手動
	レンズシフト	V：±60%　H：±23%
	焦点距離	14.3 mm ～ 22.9 mm
	F 値	F 1.81 ～ 2.1
光源		レーザー - 蛍光体
画面サイズ（投写距離）		ワイド：60 型～ 300 型（1.80 m ～ 8.98 m） テレ：60 型～ 200 型（2.87 m ～ 9.58 m）
色数		10 億 7,300 万色
明るさ*1（プレゼンテーション モード、HDMI 入力時）		5000 ルーメン
コントラスト比*1 (全白：全黒、プレゼンテーションモード)		50000:1
周辺照度比*1		80%
スピーカー		10W・モノラル x 1
最大入力解像度		3840 x 2160 ドット

型名		LX-MH502Z
映像信号	アナログ PC 入力	WUXGA/WSXGA+/UXGA/SXGA+/WXGA+/FWXGA/WXGA/SXGA/XGA/SVGA/VGA/MAC
	HDMI 入力	コンピューターと接続時：3840 x 2160/WUXGA/WSXGA+/UXGA/SXGA+/WXGA+/FWXGA/WXGA/SXGA/XGA/SVGA/VGA AV 機器と接続時：2160p/1080p/1080i/720p/576p/576i/480p/480i
接続端子	ミニ Dsub15 x 2	アナログ PC 入力 / アナログ PC 出力
	HDMI x 2	デジタル PC / デジタルビデオ入力
	ミニジャック x 2	音声入力 x 1、音声出力 x 1
	Dsub9	RS-232C 接続
	RJ-45 x 2	ネットワーク接続（100BASE-TX / 10BASE-T）/ HDBaseT 入力
	USB mini B	サービスポート
	USB type A	電源供給
入力信号	デジタル PC	TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)
	アナログ PC	0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75Ω 水平・垂直同期：TTL レベル、負または正
	音声	インピーダンス 600Ω 以上
騒音		39/37dB（光源モード ノーマル / エコ）4K シフト オン 37/35dB（光源モード ノーマル / エコ）4K シフト オフ
使用温度範囲		0°C~40°C
電源		AC100V 50 / 60Hz
最大消費電力		550 W（ノーマル）、< 400 W（エコ）
待機消費電力		< 0.4 W LAN:Off、< 1.5 W LAN:On
本体寸法		W: 450 mm、H: 154 mm、D: 379 mm W: 450 mm、H: 125 mm、D: 379 mm（突起部除く）
質量		約 9.3kg
付属品		リモコン、リモコン用ボタン電池、電源コード、コンピューターケーブル、かんたんガイド、重要なおしらせ、保証書

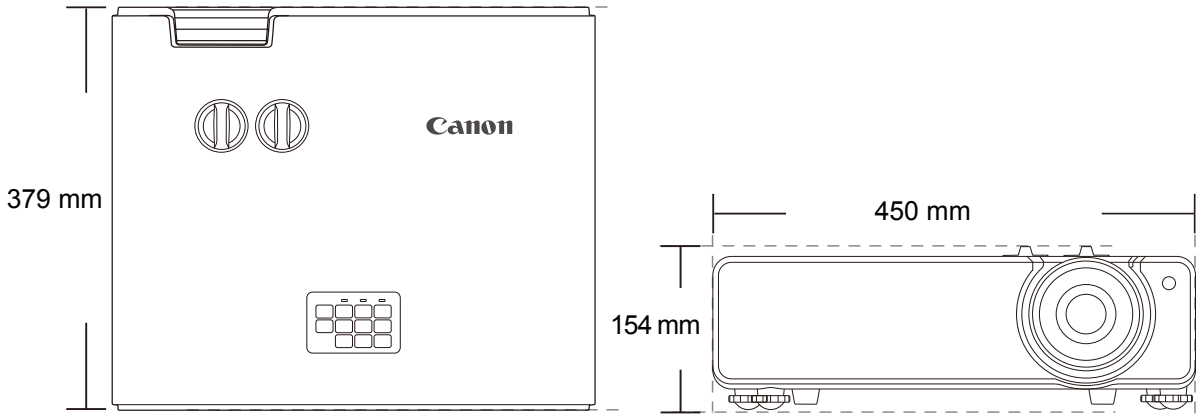
☞• ***1*** 出荷時における本プロジェクターの値を示しており、**JIS X 6911: 2015** データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書 **B** に基づいています。

• プロジェクター保護のため、使用環境温度の上昇に応じて、プロジェクターの光出力が低下することがあります。

- 長時間・連続使用する際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。
- 本機は **JIS C 61000-3-2** 適合品です。
- 製品の仕様及び外観の一部を予告なく変更することがあります。

寸法

450 mm (W) x 154 mm (H) x 379 mm (D) / 17.7" (W) x 6.1" (H) x 15.0" (D)



許容誤差：±2mm

対応信号

D-sub 入力

- コンピューターの場合

解像度	フォーマット	垂直周波数（Hz）	水平周波数（kHz）	ドットクロック（MHz）
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221
640 x 480	VGA_60	59.940	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.500
	VGA_75	75.000	37.500	31.500
	VGA_85	85.008	43.269	36.000
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250
	SVGA_120（リデュースドブランキング）	119.854	77.425	83.000
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000
	XGA_70	70.069	56.476	75.000
	XGA_75	75.029	60.023	78.750
	XGA_85	84.997	68.667	94.500
	XGA_120（リデュースドブランキング）	119.989	97.551	115.500
1152 x 864	1152 x 864_75	75.00	67.500	108.000
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45.000	74.250
	1280 x 720_120	120	90.000	148.500
1280 x 768	1280 x 768_60（リデュースドブランキング）	60	47.396	68.25
	1280 x 768_60	59.870	47.776	79.5
1280 x 800	WXGA_60	59.810	49.702	83.500
	WXGA_75	74.934	62.795	106.500
	WXGA_85	84.880	71.554	122.500
	WXGA_120（リデュースドブランキング）	119.909	101.563	146.25
1280 x 1024	SXGA_60	60.020	63.981	108.000
	SXGA_75	75.025	79.976	135.000
	SXGA_85	85.024	91.146	157.500
1280 x 960	1280 x 960_60	60.000	60.000	108
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.500
1360 x 768	1360 x 768_60	60.015	47.712	85.500
1440 x 900	WXGA+_60（リデュースドブランキング）	60	55.469	88.75
	WXGA+_60	59.887	55.935	106.500

解像度	フォーマット	垂直周波数（Hz）	水平周波数（kHz）	ドットクロック（MHz）
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.750
1600 x 1200	UXGA	60.000	75.000	162.000
1680 x 1050	1680 x 1050_60（リデュースドブランキング）	59.883	64.674	119.000
	1680 x 1050_60	59.954	65.290	146.250
640 x 480@67Hz	MAC13	66.667	35.000	30.240
832 x 624@75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.280
1024 x 768@75Hz	MAC19	75.020	60.241	80.000
1152 x 870@75Hz	MAC21	75.06	68.68	100.00
1920 x 1080@60Hz	1920 x 1080_60（リデュースドブランキング）	60	67.5	148.5

HDMI(HDCP)/HDBaseT 入力

- コンピューターの場合

解像度	フォーマット	垂直周波数（Hz）	水平周波数（kHz）	ドットクロック（MHz）
640 x 480	VGA_60	59.940	31.469	25.175
	VGA_72	72.809	37.861	31.500
	VGA_75	75.000	37.500	31.500
	VGA_85	85.008	43.269	36.000
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250
	SVGA_120（リデュースドブランキング）	119.854	77.425	83.000
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000
	XGA_70	70.069	56.476	75.000
	XGA_75	75.029	60.023	78.750
	XGA_85	84.997	68.667	94.500
	XGA_120（リデュースドブランキング）	119.989	97.551	115.500
1152 x 864	1152 x 864_75	75.00	67.500	108.000
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45.000	74.250
	1280 x 720_120	120	90.000	148.500
1280 x 768	1280 x 768_60（リデュースドブランキング）	60	47.396	68.25
	1280 x 768_60	59.870	47.776	79.5

解像度	フォーマット	垂直周波数（Hz）	水平周波数（kHz）	ドットクロック（MHz）
1280 x 800	WXGA_60	59.810	49.702	83.500
	WXGA_75	74.934	62.795	106.500
	WXGA_85	84.880	71.554	122.500
	WXGA_120（リデュースドブランキング）	119.909	101.563	146.25
1280 x 1024	SXGA_60	60.020	63.981	108.000
	SXGA_75	75.025	79.976	135.000
	SXGA_85	85.024	91.146	157.500
1280 x 960	1280 x 960_60	60.000	60.000	108
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.500
1360 x 768	1360 x 768_60	60.015	47.712	85.500
1440 x 900	WXGA+_60（リデュースドブランキング）	60	55.469	88.75
	WXGA+_60	59.887	55.935	106.500
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.750
1600 x 1200	UXGA	60.000	75.000	162.000
1680 x 1050	1680 x 1050_60（リデュースドブランキング）	59.883	64.674	119.000
	1680 x 1050_60	59.954	65.290	146.250
640 x 480@67Hz	MAC13	66.667	35.000	30.240
832 x 624@75Hz	MAC16	74.546	49.722	57.280
1024 x 768@75Hz	MAC19	75.020	60.241	80.000
1152 x 870@75Hz	MAC21	75.06	68.68	100.00
1920 x 1080@60Hz	1920 x 1080_60（リデュースドブランキング）	60	67.5	148.5
3840 x 2160	3840 x 2160_30	30	67.5	297
	3840 x 2160_60（HDMI2 のみ）	60	135	594

- ビデオの場合

フォーマット	解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	ドットクロック（MHz）
480i	720(1440) x 480	15.73	59.94	27
480p	720 x 480	31.47	59.94	27
576i	720(1440) x 576	15.63	50	27
576p	720 x 576	31.25	50	27
720/50p	1280 x 720	37.5	50	74.25
720/60p	1280 x 720	45.00	60	74.25
1080/24P	1920 x 1080	27	24	74.25
1080/25P	1920 x 1080	28.13	25	74.25
1080/30P	1920 x 1080	33.75	30	74.25
1080/50i	1920 x 1080	28.13	50	74.25
1080/60i	1920 x 1080	33.75	60	74.25
1080/50P	1920 x 1080	56.25	50	148.5
1080/60P	1920 x 1080	67.5	60	148.5
2160/24P	3840 x 2160	54	24	297
2160/25P	3840 x 2160	56.25	25	297
2160/30P	3840 x 2160	67.5	30	297
2160/50P	3840 x 2160（HDMI2 のみ）	112.5	50	594
2160/60P	3840 x 2160（HDMI2 のみ）	135	60	594

プロジェクター制御

制御コマンド

コントロール端子や LAN 端子を通してコマンドを送ることでプロジェクターを制御することができます。

システム条件

コントロール端子

	RS-232C	HDBaseT	LAN
接続ケーブル	Dsub9	RJ45（カテゴリー 5e 以上）	RJ45
通信モード	RS-232-C 非同期、半二重通信		TCP/IP
ボーレート	9600	9600	
文字長	8 ビット		
パリティーチェック	なし		
ストップビット	1 ビット		
フロー制御	なし		

TCP/IP 接続

ポート番号	WEB : 80 制御コマンド（Telnet）: 33336 CrestonControl : 41794 FLASH UI : 843

制御コマンド

機能	Read/Write	操作	コマンド (ASCII)
電源	W	電源オン	pow=on<CR>
	W	電源オフ	pow=off<CR>
	R	電源状態	pow=?<CR>
ソース選択	W	COMPUTER	sour=RGB<CR>
	W	HDMI 1	sour=hdmi<CR>
	W	HDMI 2	sour=hdmi2<CR>
	W	HDbaseT	sour=hdbaset<CR>
	R	現在のソース	sour=?<CR>
イメージモード	W	プレゼンテーション	appmod=preset<CR>
	W	スタンダード	appmod=std<CR>
	W	sRGB	appmod=srgb<CR>

機能	Read/Write	操作	コマンド (ASCII)
イメージモード	W	シネマ	appmod=movie<CR>
	W	DICOM	appmod=dicom<CR>
	W	ユーザー 1	appmod=user1<CR>
	W	ユーザー 2	appmod=user2<CR>
	R	イメージモード	appmod=?<CR>
ピクチャー設定	W	コントラスト +	con=+<CR>
	W	コントラスト -	con=-<CR>
	R	コントラスト値	con=?<CR>
	W	明るさ +	bri=+<CR>
	W	明るさ -	bri=-<CR>
	R	明るさ値	bri=?<CR>
	W	色の濃さ +	color=+<CR>
	W	色の濃さ -	color=-<CR>
	R	色の濃さ値	color=?<CR>
	W	色合い +	tint=+<CR>
	W	色合い -	tint=-<CR>
	R	色合い値	tint=?<CR>
	W	シャープネス +	sharp=+<CR>
	W	シャープネス -	sharp=-<CR>
	R	シャープネス値	sharp=?<CR>
	W	スキントーン +	skintone=+<CR>
	W	スキントーン -	skintone=-<CR>
	R	スキントーン値	skintone=?<CR>
	W	色温度 - 低い	ct=low<CR>
	W	色温度 - 標準	ct=mid<CR>
	W	色温度 - 高い	ct=high<CR>
	R	色温度の状態	ct=?<CR>
	W	アスペクト比 4:3	asp=4:3<CR>
	W	アスペクト比 16:9	asp=16:9<CR>

機能	Read/Write	操作	コマンド (ASCII)
ピクチャー設定	W	アスペクト比 16:10	asp=16:10<CR>
	W	アスペクト比オート	asp=auto<CR>
	W	アスペクト比リアル	asp=real<CR>
	R	アスペクト比の状態	asp=?<CR>
	W	オーバースキャンの調整 +	overscan=+<CR>
	W	オーバースキャンの調整 -	overscan=-<CR>
	R	オーバースキャンの調整値	overscan=?<CR>
	W	自動調整	auto<CR>
	W	赤ゲイン +	rgain=+<CR>
	W	赤ゲイン -	rgain=-<CR>
	R	赤ゲイン値	rgain=?<CR>
	W	緑ゲイン +	ggain=+<CR>
	W	緑ゲイン -	ggain=-<CR>
	R	緑ゲイン値	ggain=?<CR>
	W	青ゲイン +	bgain=+<CR>
	W	青ゲイン -	bgain=-<CR>
	R	青ゲイン値	bgain=?<CR>
	W	赤オフセット +	roffset=+<CR>
	W	赤オフセット -	roffset=-<CR>
	R	赤オフセット値	roffset=?<CR>
	W	緑オフセット +	goffset=+<CR>
	W	緑オフセット -	goffset=-<CR>
	R	緑オフセット値	goffset=?<CR>
	W	青オフセット +	boffset=+<CR>
	W	青オフセット -	boffset=-<CR>
	R	青オフセット値	boffset=?<CR>
	W	ガンマ選択 -1.6	gamma=1.6<CR>
	W	ガンマ選択 -1.8	gamma=1.8<CR>
	W	ガンマ選択 -2.0	gamma=2.0<CR>

機能	Read/Write	操作	コマンド (ASCII)
ピクチャー設定	W	ガンマ選択 -2.1	gamma=2.1<CR>
	W	ガンマ選択 -2.2	gamma=2.2<CR>
	W	ガンマ選択 -2.3	gamma=2.3<CR>
	W	ガンマ選択 -2.4	gamma=2.4<CR>
	W	ガンマ選択 -2.5	gamma=2.5<CR>
	W	ガンマ選択 -2.6	gamma=2.6<CR>
	W	ガンマ選択 -2.8	gamma=2.8<CR>
	R	ガンマ選択の状態	gamma=?<CR>
操作設定	W	起動画面 -Canon	splash=canon<CR>
	W	起動画面 - 黒	splash=black<CR>
	W	起動画面 - 青	splash=blue<CR>
	W	起動画面の状態	splash=?<CR>
	W	背景色 - 黒	background=black<CR>
	W	背景色 - 青	background=blue<CR>
	W	背景色 - 緑	background=green<CR>
	R	背景色の状態	background=?<CR>
	W	プロジェクターモード - 前面投写	pp=FT<CR>
	W	プロジェクターモード - リア投写	pp=RE<CR>
	W	プロジェクターモード - リア天吊投写	pp=RC<CR>
	W	プロジェクターモード - 天吊投写	pp=FC<CR>
	R	プロジェクターモードの状態	pp=?<CR>
	W	自動入力サーチ - オン	qas=on<CR>
	W	自動入力サーチ - オフ	qas=off<CR>
	R	自動入力サーチの状態	qas=?<CR>

機能	Read/Write	操作	コマンド (ASCII)
操作設定	W	メニュー表示時間 - 常にオン	menutime=on<CR>
	W	メニュー表示時間 -5 秒	menutime=5s<CR>
	W	メニュー表示時間 -10 秒	menutime=10s<CR>
	W	メニュー表示時間 -15 秒	menutime=15s<CR>
	W	メニュー表示時間 -20 秒	menutime=20s<CR>
	W	メニュー表示時間 -25 秒	menutime=25s<CR>
	W	メニュー表示時間 -30 秒	menutime=30s<CR>
	R	メニュー表示時間の状態	menutime=?<CR>
	W	メニュー位置 - 中央	menuposition=center<CR>
	W	メニュー位置 - 左上	menuposition=tl<CR>
	W	メニュー位置 - 右上	menuposition=tr<CR>
	W	メニュー位置 - 右下	menuposition=br<CR>
	W	メニュー位置 - 左下	menuposition=bl<CR>
	R	メニュー位置の状態	menuposition=?<CR>
	W	アラームメッセージ - オン	reminder=on<CR>
	W	アラームメッセージ - オフ	reminder=off<CR>
	R	アラームメッセージの状態	reminder=?<CR>
	W	ダイレクトパワーオン - オン	directpower=on<CR>
	W	ダイレクトパワーオン - オフ	directpower=off<CR>
	R	ダイレクトパワーオンの状態	directpower=?<CR>
光源制御	R	光源使用時間	ltim=?<CR>
	W	ノーマルモード	lampm=lnor<CR>
	W	エコモード	lampm=eco<CR>
	W	360 & ポートレート	lampm=portrait<CR>
	R	光源モードの状態	lampm=?<CR>

機能	Read/Write	操作	コマンド (ASCII)
その他	R	型番	modelname=?<CR>
	W	ブランク - オン	blank=on<CR>
	W	ブランク - オフ	blank=off<CR>
	R	ブランクの状態	blank=?<CR>
	W	メニューオン	menu=on<CR>
	W	メニューオフ	menu=off<CR>
	W	上	up<CR>
	W	下	down<CR>
	W	右	right<CR>
	W	左	left<CR>
	W	OK/ENTER	enter<CR>
	W	言語 +	lang=+<CR>
	W	言語 -	lang=-<CR>
	R	言語の状態	lang=?<CR>
	W	オートパワーオフ - 無効	apoff=dis<CR>
	W	オートパワーオフ -5 分	apoff=5<CR>
	W	オートパワーオフ -10 分	apoff=10<CR>
	W	オートパワーオフ -15 分	apoff=15<CR>
	W	オートパワーオフ -20 分	apoff=20<CR>
	W	オートパワーオフ -25 分	apoff=25<CR>
	W	オートパワーオフ -30 分	apoff=30<CR>
	R	オートパワーオフの状態	apoff=?<CR>
	W	高地モード - オン	highaltitude=on<CR>
	W	高地モード - オフ	highaltitude=off<CR>
	R	高地モードの状態	highaltitude=?<CR>
	W	パネルキーロック - オン	keylock=on<CR>
	W	パネルキーロック - オフ	keylock=off<CR>
	R	パネルキーロックの状態	keylock=?<CR>

制御応答

Read / Write	条件	応答	例
Write	成功	Echo command	< BLANK=ON<CR> > BLANK=ON
Read	成功	Query result	< BLANK=?<CR> > BLANK=ON
Write	何らかの条件でコマンドが実行できません。	Block item	In LAN standby ON: < BLANK=ON<CR> > Block item
Write	コマンドが正しくありません。	Unsupported item	< BLANK=ONN<CR> > Unsupported item
Write	コマンドが正しくありません。またはサイズオーバーです。	Illegal format	Case 1: <BLANK=ONNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN<CR> > Illegal format Case 2: <BLANKONNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN<CR> > Illegal format

☞• プロジェクターがコマンド終端の **<CR>** を **5** 秒以内に受信しない場合、タイムアウトとなりコマンドを再送する必要があります。

• 大文字と小文字は区別しません。

●長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品か劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	ご使用中止
●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が時々消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。 ●その他異常や故障がある。	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

お客様メモ	
品　番	
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	☎

Canon

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90071

[受付時間]〈平日〉9:00～17:00
（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）
※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9348 をご利用ください。
※上記番号は IP 電話プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめ御了承ください。

© CANON INC. 2018